

港区ごみ排出実態調査
報告書
(平成 21 年度)

平成 22 (2010) 年 3 月

港区

目 次

I	調査の目的	1
II	集積所ごみ排出実態調査	2
	1. 調査概要	2
	2. 調査結果	6
	(1) 可燃ごみ	6
	(2) 不燃ごみ	12
	(3) 資源	17
	(4) 資源プラスチック	22
	(5) 事業系ごみ	27
III	ごみ排出原単位調査	29
	1. 調査概要	29
	2. 調査結果	30
	(1) 世帯人数別データ	30
	(2) 世帯人数別の組成	33
IV	考察	37
	(1) 可燃ごみについて	37
	(2) 不燃ごみについて	38
	(3) 資源について	39
	(4) 資源プラスチックについて	39
	(5) 事業系ごみについて	40
	資料編	41

I 調査の目的

港区では平成 20 年 10 月から、家庭から排出されるプラスチック等の有効活用を図るために、プラスチックの資源回収を始めました。またゴム皮革製品等について不燃ごみから可燃ごみへの分別変更を行いました。

本調査は、これらの開始後 1 年が経過し、新分別がどのように定着しているかを把握するために実施しました。

さらに区内の家庭及び区が収集している小規模事業所から排出されるごみ量及び性状等の調査を行い、得られたデータを分析・考察することによって、今後の計画、啓発、指導に役立てることを目的としています。

なお、本調査は、上記目的のために、具体的には下記の 2 つの調査を実施しました。

① 集積所ごみ排出実態調査

5 つの住居形態別に可燃ごみ、不燃ごみ、資源、資源プラスチックの組成を把握しました。

② ごみ排出原単位調査

家庭から排出される 1 人あたりのごみ量を把握するために、指定された区内 10 か所の集積所に排出されるごみの重量を把握し、さらに家族人数別に組成を把握しました。

II 集積所ごみ排出実態調査

1. 調査概要

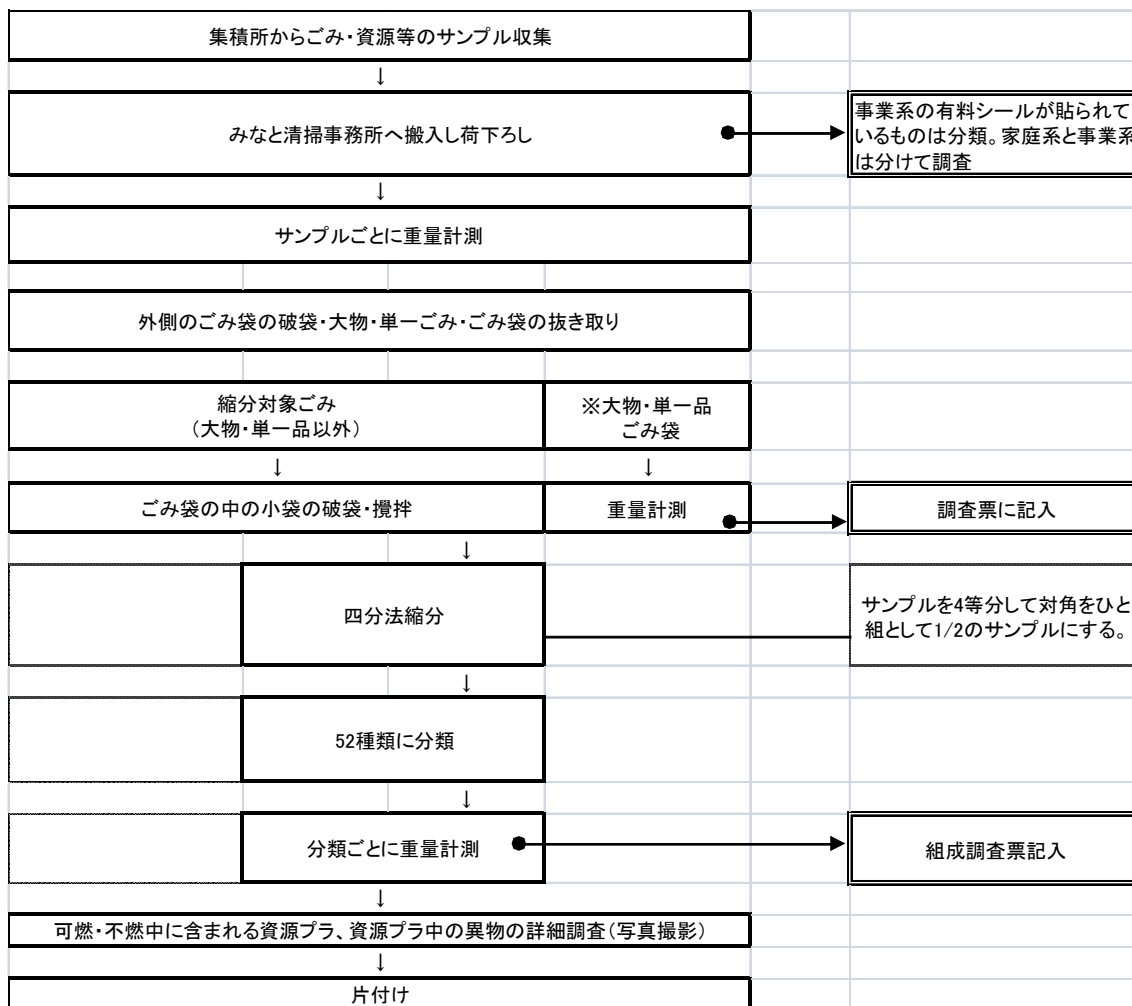
① 調査の目的

可燃ごみ、不燃ごみ等、排出されるごみの内容物の実態（組成）を調査し、今後の清掃リサイクル事業推進の参考データとすることを目的とします。

② 調査方法

調査方法については下図のとおりです。縮分はサンプル量が少ない場合は行わず、全量を調査対象としました。

組成分析調査方法



※大物・単一品、ごみ袋は縮分の比率を乗じてそれぞれの組成に加えました。

○分類項目

分類は、下記の表のように 52 分類にとしました。

組成調査分類表

No	種類	分類項目	例	
1	厨芥類	未使用食品	未開封の食品、賞味期限切れの食品など、主に容器包装に入ったままのもの	
2		調理くず、残飯等	生ごみ(調理くず)、コーヒーかす、茶殻等	
3	紙類	ダンボール	ボール紙製の緩衝芯のあるもの	
4		資源紙バック	牛乳、ジュース等のアルミの張ってないもの	
5		容器包装	紙容器包装(汚れなし)	菓子箱、ボール箱、紙袋、包装紙(食品等に直接触れないもの) アルミ蒸着紙バック、カップめんのかた、洗剤容器(食品等に直接触れるもの)
6			紙容器包装(汚れあり)	
7		容器包装以外	新聞紙・チラシ	
8			雑誌類・書籍類	週刊誌、月刊誌、単行本、小説、パンフレット、ノート
9	雑紙		ダイレクトメール、はがき等、名刺以上の大きさのあるリサイクル可能な紙類	
10	オフィス系紙類		コピー用紙、伝票、図面等、事務所から出された紙類のみ	
11		その他紙類	ティッシュペーパー、写真、感熱紙等、リサイクル不適な紙類	
12	草木類		剪定枝、落ち葉、木箱、本棚、割箸、草花、麻ひも、木製の玩具、コルク等	
13	繊維類		古着、シャツ、セーター、タオル、靴下、下着など	
14	紙おむつ類		紙おむつ、生理用品	
15	その他可燃物		湿布、ぬいぐるみ、タバコの吸殻、携帯カイロ、乾燥剤	
16	プラスチック類	ペットボトル	飲料、酒、醤油等のペットボトル	
17		その他のペットボトル	みりん風調味料、めんつゆ等	
18		ボトル容器	シャンプー、洗剤、調味料(みりん風調味料、めんつゆ等以外)のボトル	
19		チューブ類	マヨネーズ、歯磨き粉などの容器	
20		発泡スチロール	発泡スチロール、緩衝材など	
21		容器包装	発泡トレイ(白)	発泡系トレイ(白色のみ)
22			発泡トレイ(色・柄)	発泡系トレイ(色・柄付き)
23			弁当ガラ(汚れなし)	弁当箱等
24			弁当ガラ(汚れあり)	
25			その他プラスチック容器(汚れなし)	ブラ袋、容器、卵パック、透明トレイ、バックなど
26			その他プラスチック容器(汚れあり)	
27		レジ袋(内袋)	ごみを入れる内袋として利用されているレジ袋	
28		レジ袋(ごみ)	ごみとして出されたレジ袋	
29	容器包装以外	その他プラスチック製品	CDケース、歯ブラシ、プリンター等金属がないプラスチック	
30	ゴム・皮革類		かばん、くつ、ベルト、革ジャンパー等	
31	陶磁器・石類		食器、植木鉢等	
32	金属類	アルミ缶	アルミ製の飲料缶、食料缶、容器のふた等	
33		容器包装	スチール缶	スチール製の飲料缶、食料缶、容器のふた等
34			その他金属容器	塗料缶、一斗缶等
35	容器包装以外	金属製品	なべ、やかん、ハンガー、アルミ箔等	
36	びん・ガラス	容器包装	リターナブルびん	ビールびん、一升びん等
37			無色雑びん	
38			茶色雑びん	
39			その他色雑びん	
40		資源回収不適なびん	薬品、化粧品等のびん等	
41	容器包装以外	びん・ガラス製品	板ガラス、ガラスコップ、耐熱ガラス等	
42	土砂・残土・灰			
43	有害・危険物	蛍光管		
44		乾電池(筒型)	単3電池等	
45		乾電池(その他)	ボタン電池、充電型電池等	
46		スプレー缶	スプレー缶、カセットボンベ	
47		ライター		
48	小型家電製品			
49	その他不燃物		かさ、体温計・温度計、医療系廃棄物等	
50	ごみ排出時外袋	レジ袋		
51		プラスチック製の袋		
52		その他		

③ 調査日程及び調査対象地区

調査は、下記の通り 5 住居形態計 10 地区を対象に、平成 21 年 10 月に実施しました。

○調査対象の住居形態

- i) 戸建住宅が多い地域 (以下「戸建住宅」)
- ii) 管理が良好な集合住宅地域 (以下「集合住宅 (管理良好)」)
- iii) 管理が不十分な集合住宅地域 (以下「集合住宅 (管理不十分)」)
- iv) 単身者用集合住宅地域 (以下「単身集合」)
- v) 住宅及び商業混合地域 (以下「住商混合」)

○調査日

平成 21 年 10 月 17 日 (土) ~10 月 31 日 (土) に実施しました。調査地別のスケジュールは下記の通りです。

○調査地区とスケジュール

住居形態	戸建住宅		集合住宅 (管理十分)		集合住宅 (管理不十分)		単身集合		住商混合		
	元麻布 2丁目	高輪 1丁目	三田 2丁目	芝 2丁目	麻布十番 4丁目	芝浦 3丁目	三田 4丁目	海岸 3丁目	東麻布 2丁目	六本木 7丁目	
10月17日	土										
19日	月	不燃									
22日	木			不燃		不燃				不燃	
24日	土				不燃						
26日	月		可燃	プラ	プラ	プラ	資源	不燃	資源		可燃
27日	火	プラ	不燃	資源	可燃	資源	可燃	資源	可燃	プラ	不燃
28日	水	可燃	資源	可燃		可燃	不燃	可燃	不燃	可燃	プラ
29日	木		可燃		資源			プラ			資源
30日	金	資源	プラ		可燃		可燃		可燃	資源	可燃
31日	土	可燃		可燃		可燃	プラ	可燃	プラ	可燃	

④ 分析場所

みなと清掃事務所

⑤ 集計方法

集計は、可燃ごみ、不燃ごみ、資源、および資源プラスチックについて、個々の組成結果を調査対象地域の住居形態ごとに単純平均して求めました。

調査結果は、品目別組成、住居形態別組成、分別区分別組成にまとめました。分別区分ごとの集計は、次ページの表のとおりです。

集計表やグラフの百分率は、小数点 1 桁まで表示していますが、端数処理をしていないため、合計欄の数値と合計が合わない場合があります。

分類項目

No	種類	分類項目	分別区分別集計の項目					
			資源化 実施物	資源化 可能物	有害・ 危険物	可燃物	不燃物	外袋
1	厨芥類	未使用食品				○		
2		調理くず、残飯等				○		
3	紙類	容器包装	ダンボール	○				
4			資源紙パック	○				
5			紙容器包装(汚れなし)	○				
6			紙容器包装(汚れあり)				○	
7		容器包装以外	新聞紙・チラシ	○				
8			雑誌類・書籍類	○				
9			雑紙		○			
10			オフィス系紙類	○				
11			その他紙類				○	
12			草木類	剪定枝				○
13	繊維類					○		
14	紙おむつ類					○		
15	その他可燃物					○		
16	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	○				
17			その他のペットボトル		○			
18			ボトル容器	●				
19			チューブ類	●				
20			発泡スチロール	●				
21			発泡トレイ(白)	○				
22			発泡トレイ(色・柄)	●				
23			弁当ガラ(汚れなし)	●				
24			弁当ガラ(汚れあり)	●	○			
25			その他プラ容器(汚れなし)	●				
26			その他プラ容器(汚れあり)	●	○			
27			レジ袋(内袋)	●				
28		レジ袋(ごみ)	●					
29	容器包装以外	その他プラスチック製品	●					
30	ゴム・皮革類					○		
31	陶磁器・石類						○	
32	金属類	容器包装	アルミ缶	○				
33			スチール缶	○				
34		その他金属容器		○				
35		容器包装以外	金属製品					○
36	びん・ガラス	容器包装	リターナブルびん	○				
37			無色雑びん	○				
38			茶色雑びん	○				
39			その他色雑びん	○				
40		資源回収不適なびん					○	
41		容器包装以外	びん・ガラス製品					○
42	土砂・残土・灰							○
43	有害・危険物	蛍光管				○		
44		乾電池(筒型)				○		
45		乾電池(その他)				○		
46		スプレー缶				○		
47		ライター				○		
48	小型家電製品						○	
49	その他不燃物						○	
50	ごみ排出時外袋	レジ袋						○
51		プラスチック製の袋						○
52		その他						○

※●は平成20年10月から新たに資源プラスチックとして回収が始まったものです。

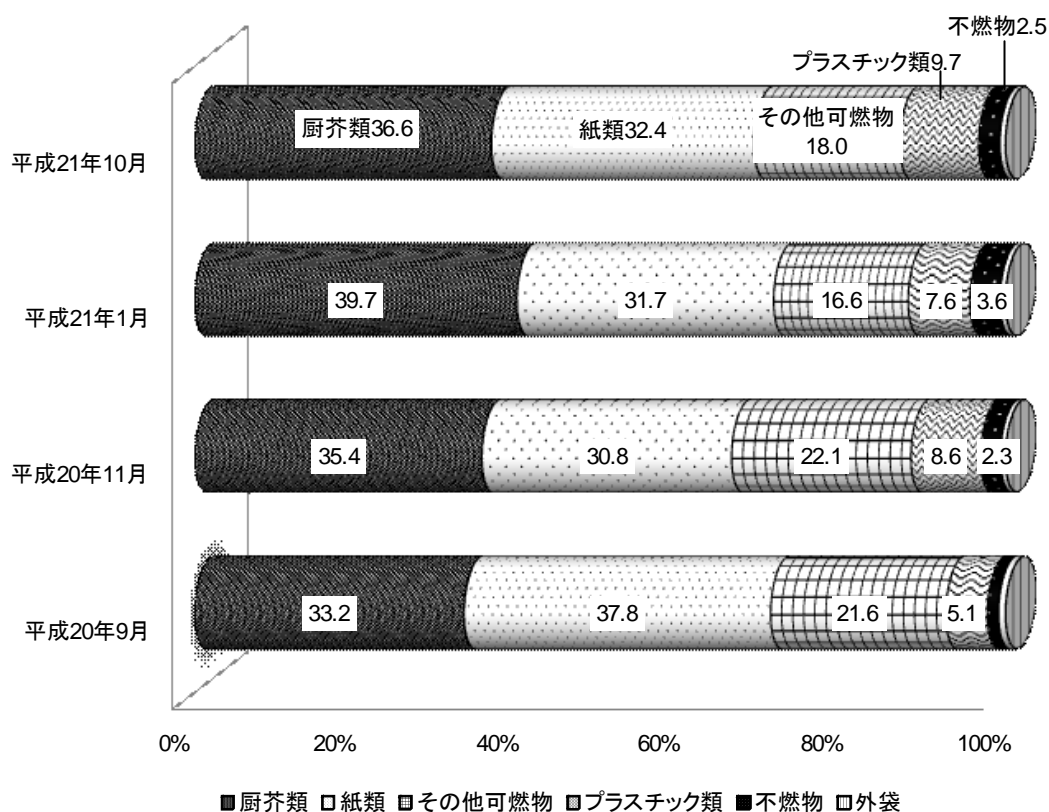
2. 調査結果

(1) 可燃ごみ

① 品目別組成

今年度調査（H21.10）では、「プラスチック類」が9.7%となっており、昨年度（H20.9）の調査から徐々に増加しています。ペットボトル、容器包装プラスチックが増加していることが原因と考えられます。また「厨芥類」は、昨年度まで増加していましたが今年度では、36.6%に減少しました。

可燃ごみの品目別組成（単位：%）



(可燃ごみ)

可燃ごみの品目別組成 (単位:%)

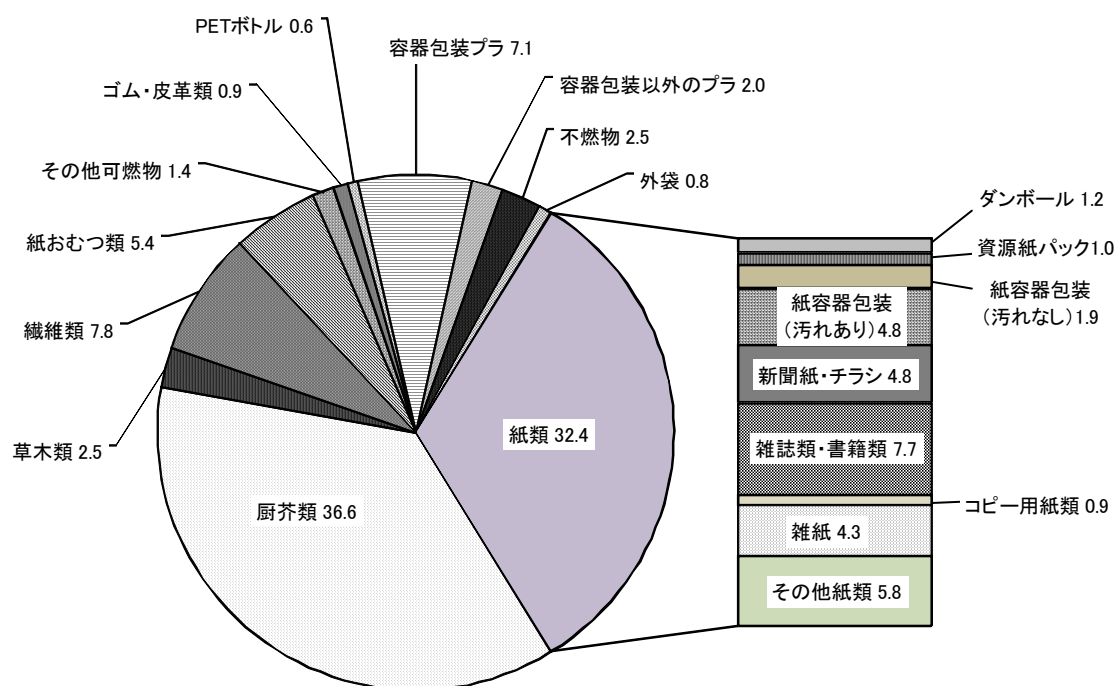
種類		平成20年9月	平成20年11月	平成21年1月	平成21年10月	
厨芥類		33.2	35.4	39.7	36.6	
紙類	小計	37.8	30.8	31.7	32.4	
	ダンボール	1.4	0.6	1.6	1.2	
	資源紙パック	0.8	0.6	0.9	1.0	
	紙容器包装(汚れなし)	4.6	1.7	3.2	1.9	
	紙容器包装(汚れあり)	1.8	3.5	3.7	4.8	
	新聞紙・チラシ	5.1	6.7	5.1	4.8	
	雑誌類・書籍類	5.9	4.1	5.0	7.7	
	コピー用紙類	2.6	1.8	1.3	0.9	
	雑紙	9.0	5.4	3.8	4.3	
	その他紙類	6.4	6.4	7.1	5.8	
その他可燃物	小計	21.6	22.1	16.6	18.0	
	草木類	3.2	5.2	2.3	2.5	
	繊維類	8.7	7.6	4.7	7.8	
	紙おむつ類	5.6	6.6	7.3	5.4	
	ゴム・皮革類	0.7	1.6	1.2	0.9	
	その他可燃物	3.5	1.0	1.1	1.4	
プラスチック類	小計	5.1	8.6	7.6	9.7	
	PETボトル	0.2	0.4	0.4	0.6	
	容器包装	4.1	5.3	5.9	7.1	
	容器包装以外	0.8	2.9	1.3	2.0	
不燃物	小計	1.3	2.3	3.6	2.5	
	陶磁器・石類	0.0	0.1	0.3	0.3	
	金属類	容器包装	0.1	0.5	0.2	0.2
		容器包装以外	0.1	0.1	0.2	0.5
	びん・ガラス	容器包装	0.1	0.2	0.2	0.1
		容器包装以外	0.0	0.1	0.3	1.0
	土砂・残土・灰	0.4	0.5	1.4	0.0	
	有害・危険物	0.1	0.1	0.1	0.3	
	小型家電製品	0.0	0.2	0.2	0.1	
その他不燃物	0.4	0.5	0.8	0.0		
外袋	1.0	0.7	0.8	0.8		
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	

(可燃ごみ)

今年度調査 (H21.10) の可燃ごみの組成を詳しくみると、「厨芥類」(36.6%)、「紙類」(32.4%) がともに高く、次に「繊維類」(7.8%)、「容器包装プラスチック」(7.1%)、「紙おむつ類」(5.4%) となっています。

「紙類」の内訳は、「雑誌類・書籍類」(7.7%)、続いて「その他紙類」(5.8%) となっています。

可燃ごみの組成 (単位:%)



② 住居形態別組成

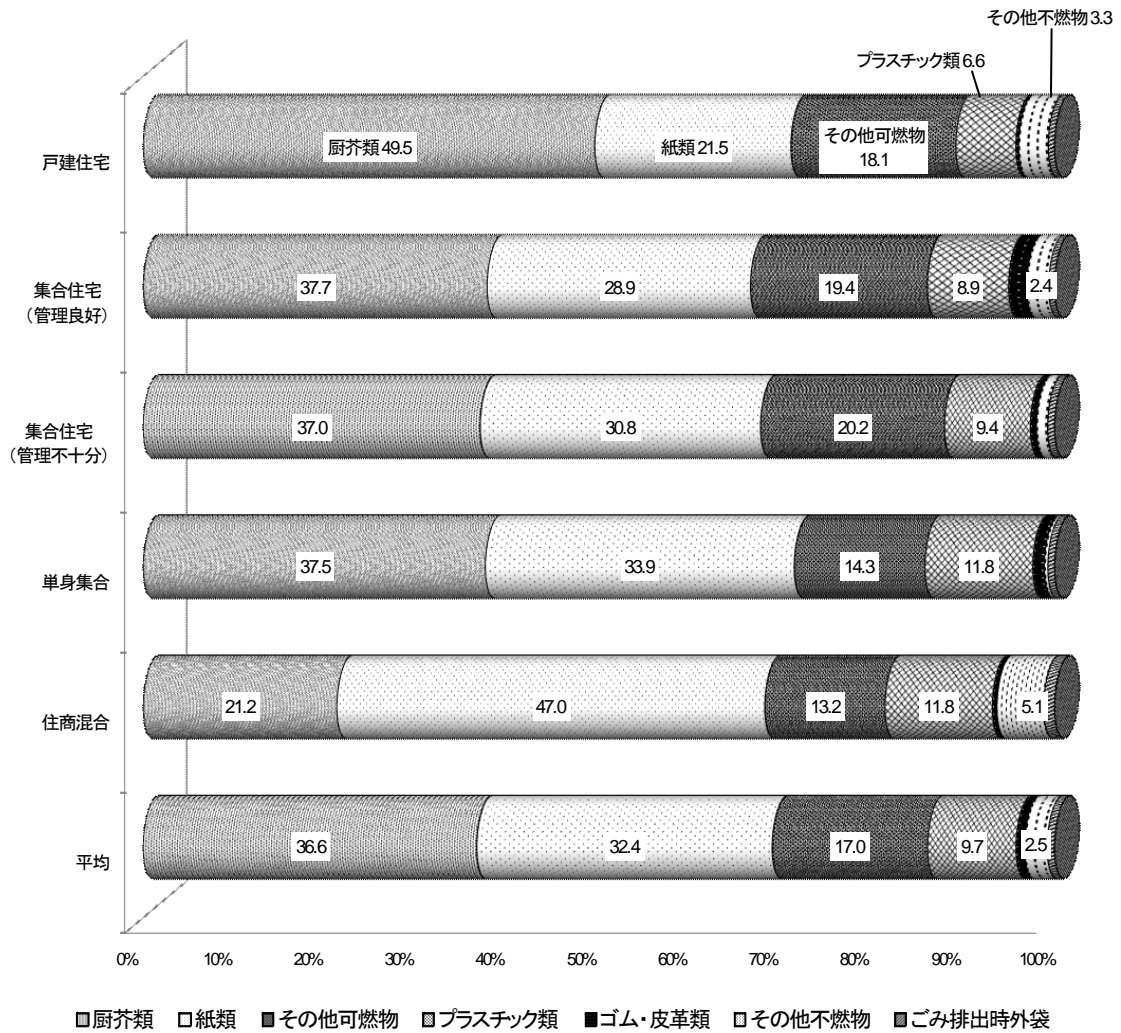
可燃ごみの住居形態別の品目別組成をみると、「厨芥類」と「紙類」が全体平均の約70%を占めています。組成が大きく異なるのは住商混合住宅地域で、「厨芥類」が21.2%と低く、一方で「紙類」は47.0%となっています。また、「不燃物」(5.1%)の割合も比較的高くなっています。

住居形態別の可燃ごみの品目別組成 (単位:%)

種類		戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均	
厨芥類		49.5	37.7	37.0	37.5	21.2	36.6	
紙類	小計	21.5	28.9	30.8	33.9	47.0	32.4	
	ダンボール	0.5	0.7	2.1	0.9	1.6	1.2	
	資源紙パック	0.3	1.0	1.2	1.7	1.0	1.0	
	紙容器包装(汚れなし)	1.2	2.4	2.4	1.5	2.2	1.9	
	紙容器包装(汚れあり)	4.3	4.9	4.2	4.2	6.3	4.8	
	新聞紙・チラシ	4.5	5.4	6.2	5.2	2.7	4.8	
	雑誌類・書籍類	2.5	6.2	3.9	6.7	19.3	7.7	
	コピー用紙類	0.1	0.6	1.1	0.2	2.3	0.9	
	雑紙	2.9	3.1	4.5	4.2	6.8	4.3	
	その他紙類	5.4	4.6	5.1	9.3	4.6	5.8	
小計		18.1	19.4	20.2	14.3	13.2	17.0	
その他可燃物	草木類	1.7	2.5	3.3	1.3	3.6	2.5	
	繊維類	7.2	9.7	10.4	5.2	6.5	7.8	
	紙おむつ類	8.5	6.0	5.3	5.7	1.5	5.4	
	その他可燃物	0.8	1.2	1.2	2.1	1.6	1.4	
小計		6.6	8.9	9.4	11.8	11.8	9.7	
プラスチック類	PETボトル	0.7	0.8	0.5	0.6	0.4	0.6	
	容器包装	3.9	6.7	7.3	10.1	7.6	7.1	
	容器包装以外	2.0	1.5	1.6	1.1	3.8	2.0	
ゴム・皮革類		0.3	2.0	0.6	1.2	0.5	0.9	
小計		3.3	2.4	1.2	0.4	5.1	2.5	
不燃物	陶磁器・石類	0.0	1.5	0.0	0.0	0.2	0.3	
	金属類	容器包装	0.1	0.1	0.6	0.1	0.0	0.2
		容器包装以外	0.0	0.0	0.2	0.0	2.3	0.5
	びん・ガラス	容器包装	0.2	0.3	0.0	0.2	0.1	0.1
		容器包装以外	2.9	0.0	0.0	0.0	1.9	1.0
	土砂・残土・灰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	有害・危険物	0.0	0.5	0.5	0.0	0.3	0.3	
	小型家電製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	
その他不燃物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
外袋		0.7	0.6	0.8	0.7	1.2	0.8	
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

(可燃ごみ)

住居形態別の可燃ごみの品目別組成 (単位:%)

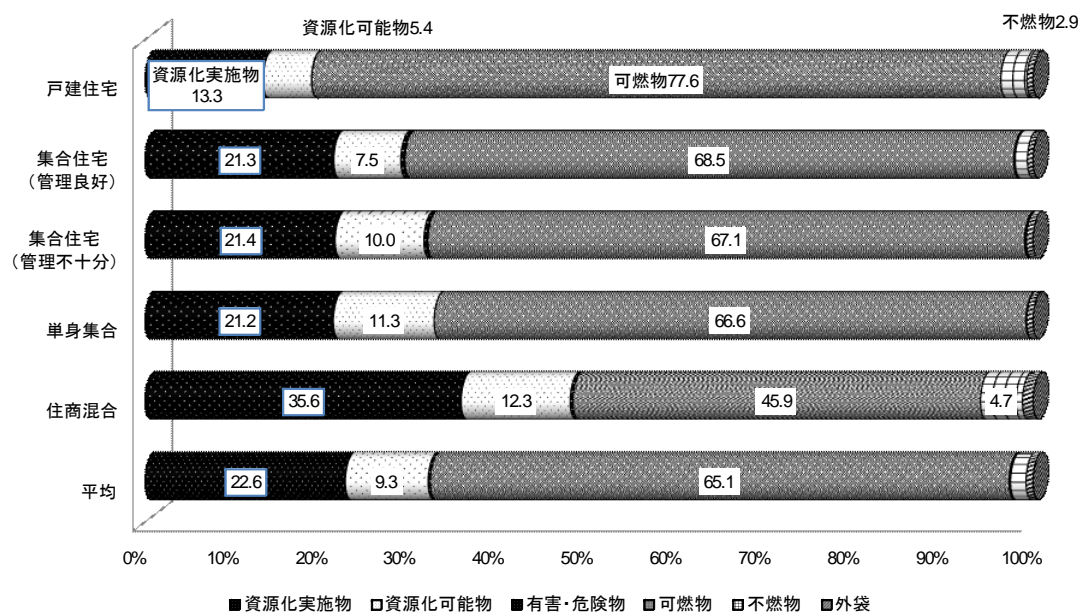


② 分別区分別組成

- ③ 今年度調査（H21.10）の住居形態別の可燃ごみの異物混入は、「資源化実施物」の割合が最も高く平均で 22.6%となっています。特に、住商混合地域では 35.6%の高い割合で「可燃物」に混入して排出されていました。

なお、「資源化可能物」とは 5 ページの分類項目の表の「資源化可能物」を指します。

住居形態別の可燃ごみの分別区分別組成（単位：%）



住居形態別の可燃ごみの分別区分別組成（単位：%）

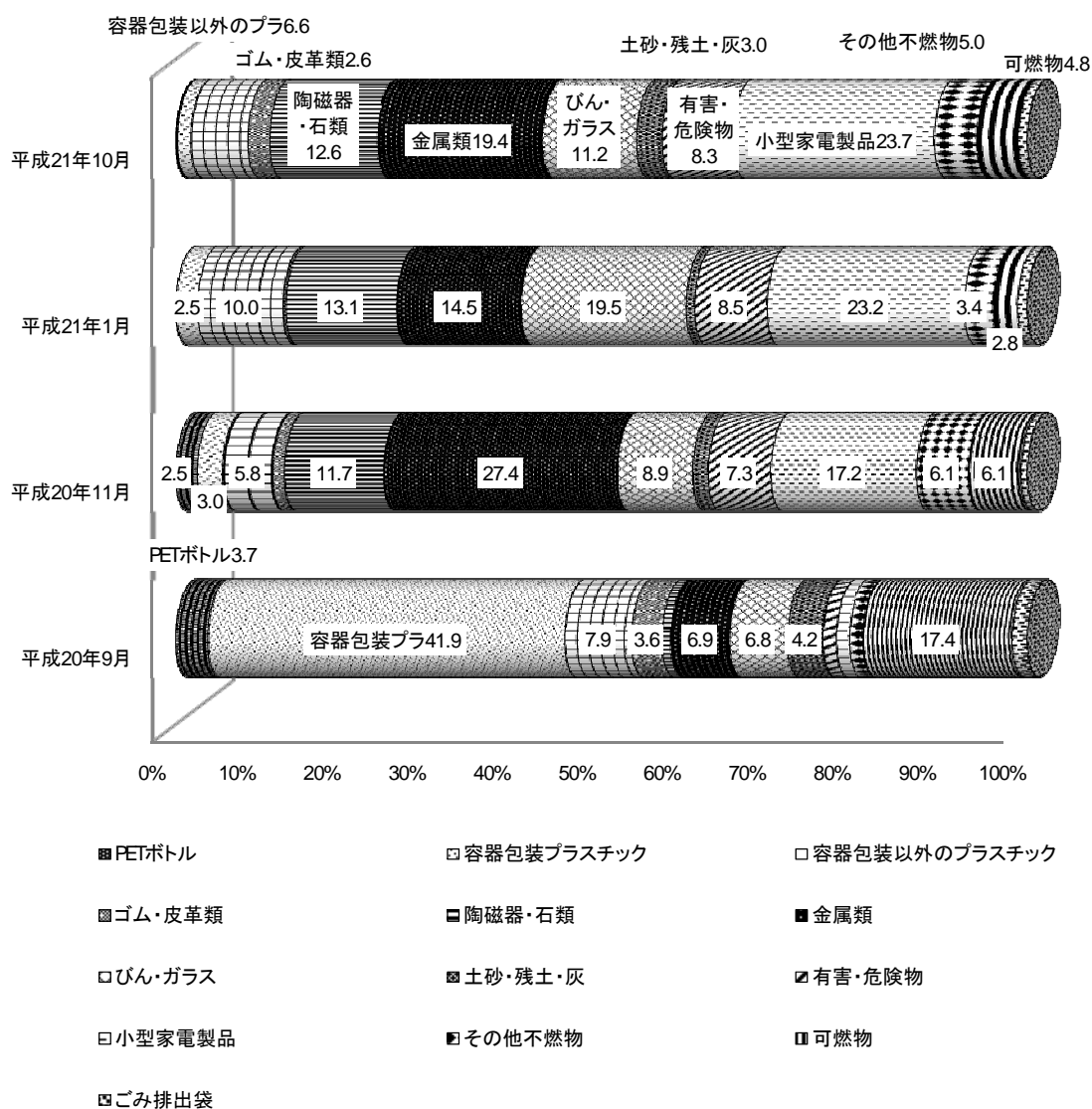
種類		戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均
資源化実施物	小計	13.3	21.3	21.4	21.2	35.6	22.6
	資源プラスチック	3.3	3.7	3.5	4.0	5.9	4.1
	その他資源化実施物	10.0	17.6	18.0	17.2	29.7	18.5
資源化可能物		5.4	7.5	10.0	11.3	12.3	9.3
有害・危険物		0.0	0.5	0.5	0.0	0.3	0.3
可燃物	小計	77.6	68.5	67.1	66.6	45.9	65.1
	ゴム・皮製品	0.3	2.0	0.6	1.2	0.5	0.9
	その他可燃物	77.3	66.5	66.5	65.4	45.4	64.2
不燃物		2.9	1.5	0.2	0.1	4.7	1.9
外袋		0.7	0.6	0.8	0.7	1.2	0.8
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 不燃ごみ

① 品目別組成

今年度調査 (H21.10) では、「容器包装プラスチック類」が 1.7%と昨年度 (H20.9) からの調査に比べ大きく減少しました。「小型家電製品」は、23.7%と増加傾向にあります。

不燃ごみの品目別組成 (単位:%)



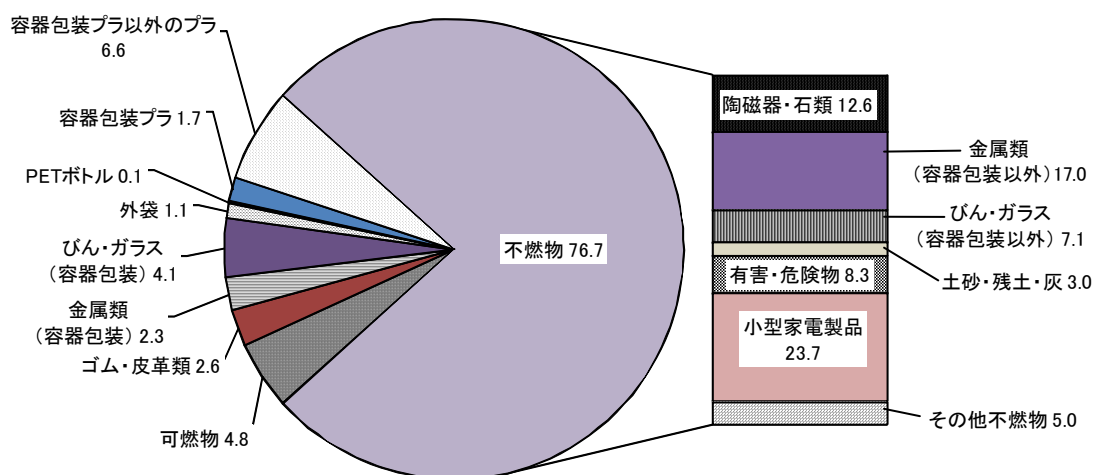
(不燃ごみ)

不燃ごみの品目別組成 (単位:%)

種類		平成20年9月	平成20年11月	平成21年1月	平成21年10月	
可燃物	小計	17.4	6.1	2.8	4.8	
	厨芥類	5.2	1.2	0.4	0.7	
	紙類	容器包装	2.7	1.3	0.2	0.9
		容器包装以外	3.1	2.1	0.3	0.2
	草木類	0.4	0.3	1.1	1.6	
	繊維類	2.6	0.1	0.2	0.0	
	紙おむつ類	0.0	0.5	0.0	0.1	
	その他可燃物	3.3	0.6	0.6	1.3	
プラスチック類	小計	53.6	11.3	12.6	8.4	
	PETボトル	3.7	2.5	0.0	0.1	
	容器包装	41.9	3.0	2.5	1.7	
	容器包装以外	7.9	5.8	10.0	6.6	
ゴム・皮革類	3.6	1.4	0.3	2.6		
金属類	容器包装	1.2	8.0	4.8	2.3	
びん・ガラス	容器包装	4.3	2.3	9.6	4.1	
不燃物	小計	18.1	70.1	68.8	76.7	
	陶磁器・石類	1.0	11.7	13.1	12.6	
	金属類	容器包装以外	5.7	19.4	9.7	17.0
		びん・ガラス	2.5	6.6	9.9	7.1
	土砂・残土・灰	4.2	1.8	1.0	3.0	
	有害・危険物	1.6	7.3	8.5	8.3	
	小型家電製品	1.6	17.2	23.2	23.7	
	その他不燃物	1.7	6.1	3.4	5.0	
ごみ排出時外袋	1.8	0.8	1.2	1.1		
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	

今年度調査 (H21.10) の不燃ごみの組成についてみると、「不燃物」が 76.7%あり、「小型家電製品」(23.7%) や「金属類 (容器包装以外)」(17.0%) などがこれに含まれます。次いで、「びん・ガラス (容器包装以外)」(7.1%)、「容器包装プラ以外のプラスチック」(6.6%)、「可燃物」(4.8%) がそれに続きます。

不燃ごみの組成 (単位:%)

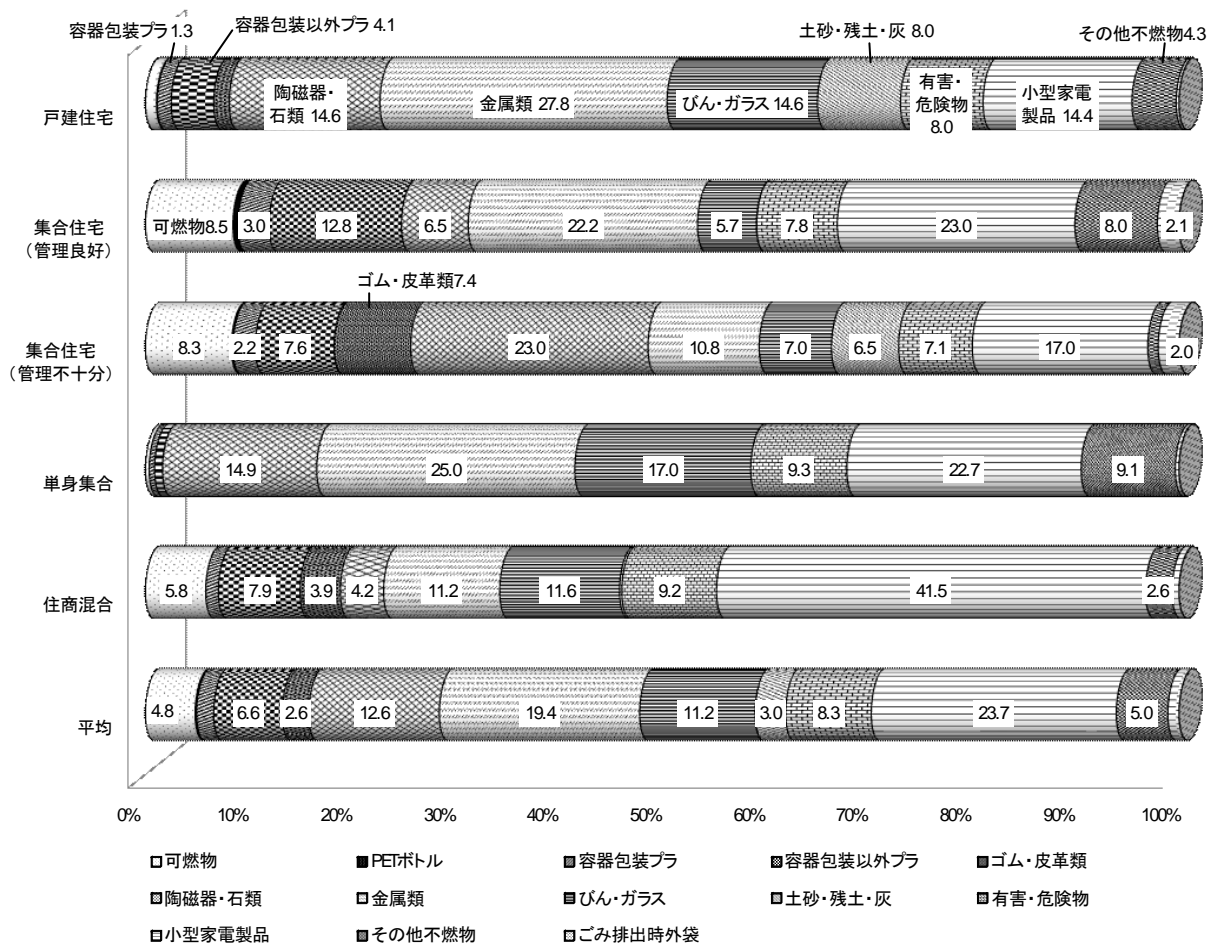


(不燃ごみ)

② 住居形態別組成

不燃ごみの住居形態別の品目別組成をみると、居住形態によって排出物の構成が大きく異なっていることがわかります。例えば、「ゴム・皮革類」および「陶磁器・石類」は集合住宅（管理不十分）地域で合わせて約30%なのに対し、その他の住宅地域では約15%以下にとどまっています。また、「小型家電製品」は住商混合地域で41.5%ですが、その他では14~24%程度と住居形態間で差が見られます。

住居形態別の不燃ごみの品目別組成（単位：%）



(不燃ごみ)

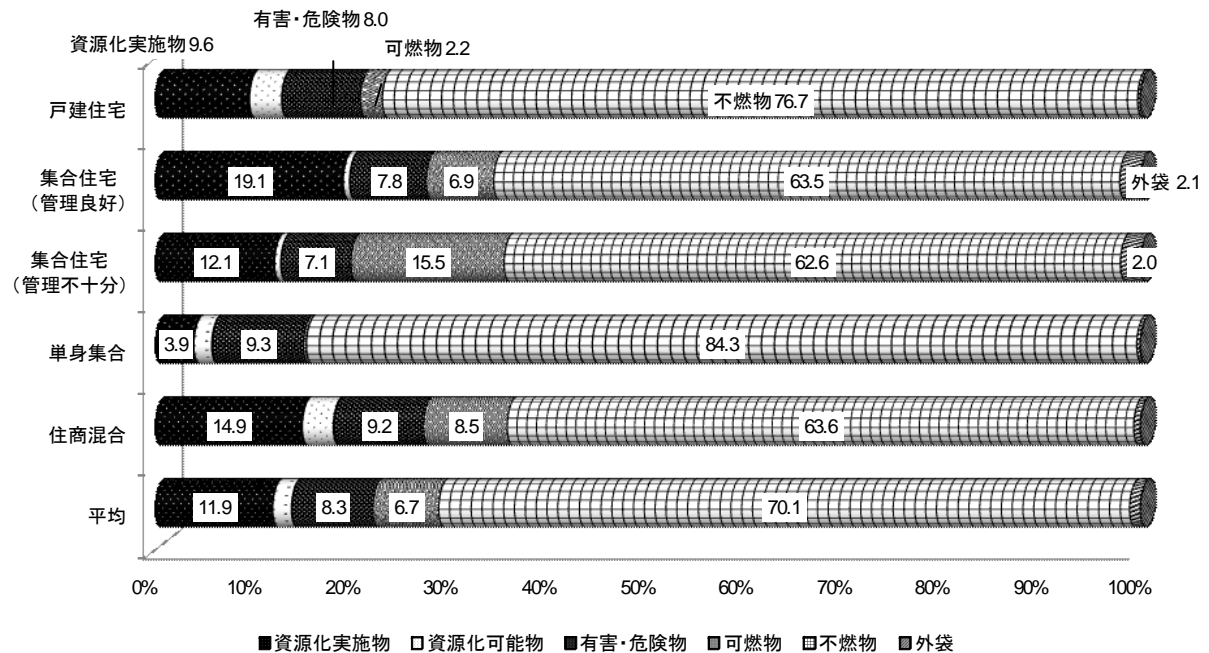
住居形態別の不燃ごみの品目別組成 (単位:%)

種類		戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均	
可燃物	小計	1.1	8.5	8.3	0.4	5.8	4.8	
	厨芥類	0.0	0.1	2.0	0.0	1.6	0.7	
	紙類	容器包装	0.1	1.3	1.8	0.1	1.1	0.9
		容器包装以外	0.4	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2
	草木類	0.0	6.4	1.6	0.2	0.0	1.6	
	繊維類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	
	紙おむつ類	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	
	その他可燃物	0.6	0.1	2.8	0.0	2.8	1.3	
プラスチック類	小計	5.5	16.3	9.9	1.3	9.1	8.4	
	PETボトル	0.1	0.5	0.2	0.0	0.0	0.1	
	容器包装	1.3	3.0	2.2	0.5	1.2	1.7	
	容器包装以外	4.1	12.8	7.6	0.8	7.9	6.6	
ゴム・皮革類	1.5	0.0	7.4	0.0	3.9	2.6		
陶磁器・石類	14.6	6.5	23.0	14.9	4.2	12.6		
金属類	小計	27.8	22.2	10.8	25.0	11.2	19.4	
	容器包装	4.2	1.7	0.8	2.0	3.0	2.3	
	容器包装以外	23.5	20.5	10.0	23.0	8.2	17.0	
びん・ガラス	小計	14.6	5.7	7.0	17.0	11.6	11.2	
	容器包装	2.9	3.8	2.7	3.7	7.4	4.1	
	容器包装以外	11.7	1.8	4.3	13.4	4.2	7.1	
土砂・残土・灰	8.0	0.0	6.5	0.0	0.2	3.0		
有害・危険物	8.0	7.8	7.1	9.3	9.2	8.3		
小型家電製品	14.4	23.0	17.0	22.7	41.5	23.7		
その他不燃物	4.3	8.0	1.0	9.1	2.6	5.0		
ごみ排出時外袋	0.3	2.1	2.0	0.4	0.7	1.1		
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

③ 分別区分別

住居形態別の不燃ごみの異物混入は、「資源化実施物」の割合が最も高く、平均で 11.9% となっています。この内訳をみると、その他の資源化実施物(びん・缶など)が平均で 11.0%、新たに資源化が始まったプラスチック類が 0.9% となっています。

住居形態別の不燃ごみの分別区分別組成 (単位: %)



住居形態別の不燃ごみの分別区分別組成 (通常地区、単位: %)

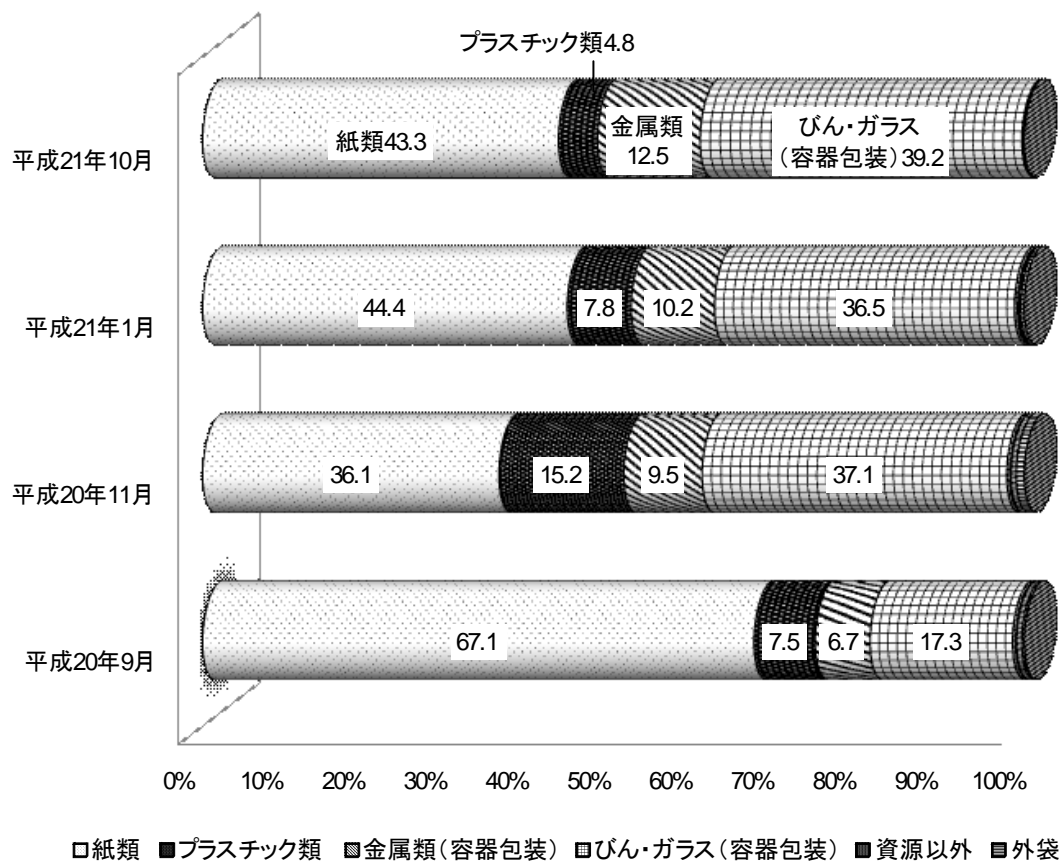
種類	戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均	
資源化実施物	小計	9.6	19.1	12.1	3.9	14.9	11.9
	資源プラスチック	0.4	2.2	1.7	0.0	0.4	0.9
	その他資源化実施物	9.1	16.9	10.4	3.9	14.5	11.0
資源化可能物	3.3	0.6	0.6	1.8	3.1	1.9	
有害・危険物	8.0	7.8	7.1	9.3	9.2	8.3	
可燃物	小計	2.2	6.9	15.5	0.3	8.5	6.7
	ゴム・皮革類	1.5	0.0	7.4	0.0	3.9	2.6
	その他可燃物	0.7	6.9	8.1	0.3	4.6	4.1
不燃物	76.7	63.5	62.6	84.3	63.6	70.1	
外袋	0.3	2.1	2.0	0.4	0.7	1.1	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

(3) 資源

① 品目別組成

資源の組成を時系列で見ると、今年度調査（H21.10）では、「紙類」が43.3%を占め、「びん・ガラス」の割合は増加傾向にあり、昨年度（H20.9）より2倍以上に膨らんでいます。

資源の品目別組成（単位：%）



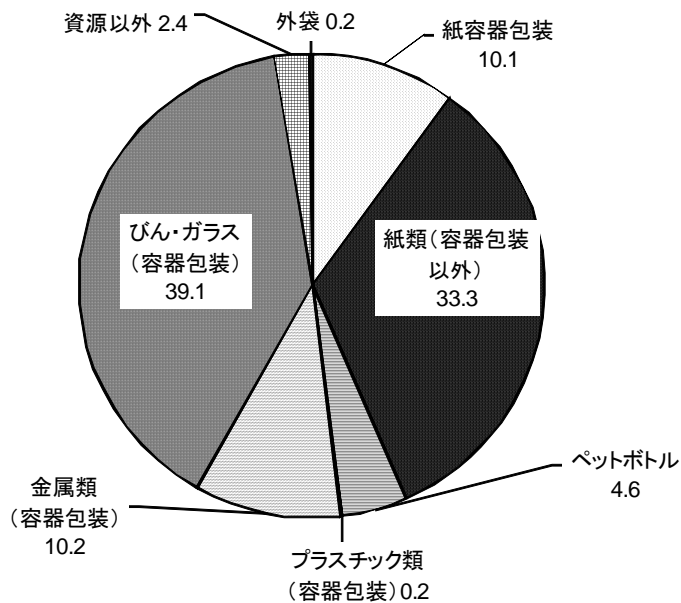
(資源)

資源の品目別組成 (単位:%)

種類		平成20年9月	平成20年11月	平成21年1月	平成21年10月	
資源	紙類	小計	67.1	36.1	44.4	43.3
		容器包装	36.5	15.3	26.7	10.1
		容器包装以外	30.7	20.8	17.7	33.3
	プラスチック類	小計	7.5	15.2	7.8	4.8
		PETボトル	6.9	12.7	7.3	4.6
		容器包装	0.2	1.1	0.3	0.2
		容器包装以外	0.3	1.5	0.2	0.0
	金属類	容器包装	6.7	9.3	9.8	10.2
びん・ガラス	容器包装	17.0	36.8	36.4	39.1	
資源以外	小計	1.4	1.7	1.3	2.4	
	塵芥類	0.0	0.6	0.1	0.0	
	草木類	0.0	0.0	0.0	0.0	
	繊維類	0.0	0.0	0.0	0.0	
	紙おむつ類	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他可燃物	0.6	0.2	0.0	0.0	
	ゴム・皮革類	0.0	0.0	0.3	0.0	
	陶磁器・石類	0.1	0.0	0.2	0.0	
	金属類(容器包装以外)	0.0	0.2	0.4	2.3	
	びん・ガラス(容器包装以外)	0.3	0.3	0.1	0.0	
	土砂・残土・灰	0.0	0.0	0.0	0.0	
	有害・危険物	0.1	0.4	0.1	0.1	
	小型家電製品	0.3	0.0	0.0	0.0	
その他不燃物	0.0	0.0	0.0	0.0		
ごみ排出時外袋	0.3	0.9	0.4	0.2		
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	

今年度調査 (H21.10) の資源の組成は、「びん・ガラス (容器包装)」の割合が 39.1%と最も高く、次に容器包装以外の「その他紙類」(33.3%)、「金属類 (容器包装)」(10.2%)と続きます。

資源の組成 (単位:%)

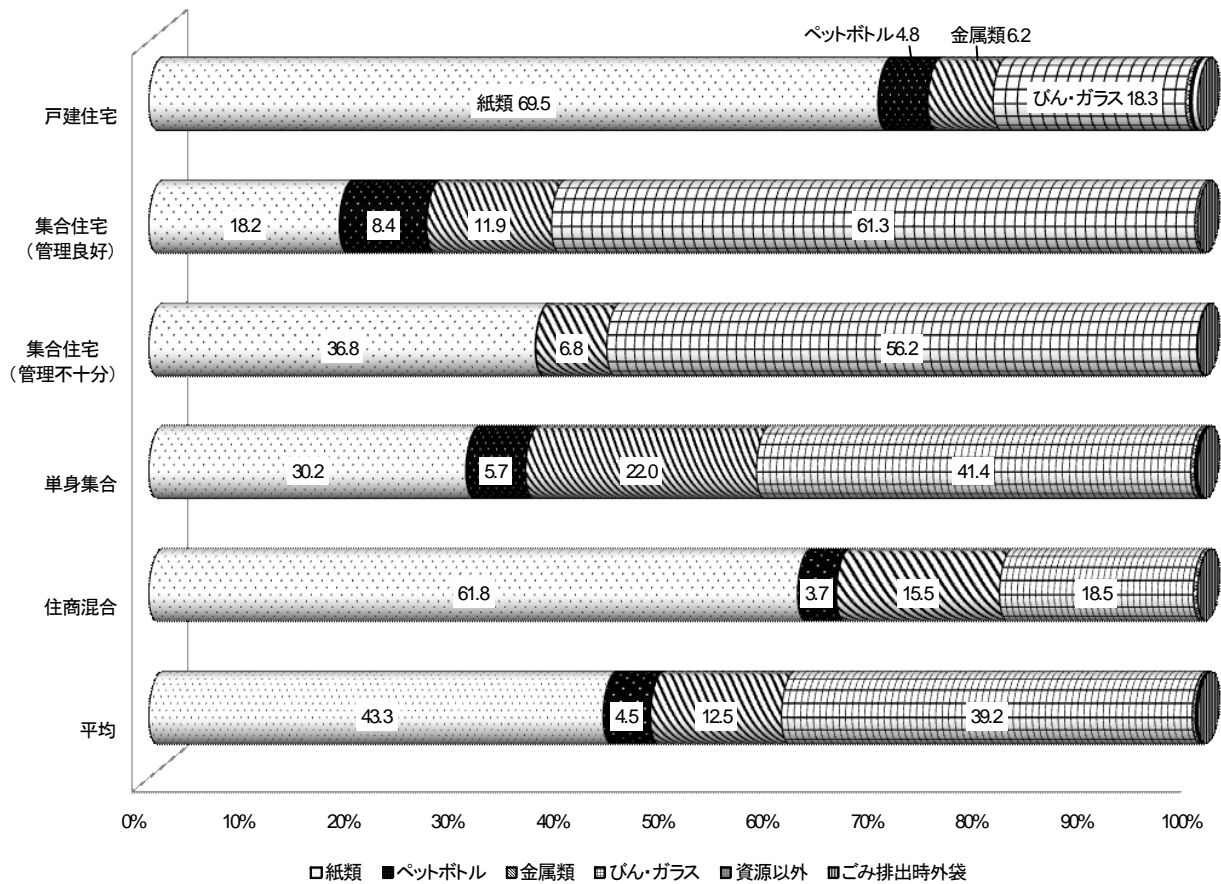


(資源)

② 住居形態別組成

資源の住居形態別の品目別組成をみると、単身集合以外は、「紙類」と「びん・ガラス」で全体の約 80%を占めていることがわかります。戸建住宅、住商混合では、他の住居形態と比べて「紙類」が特に多く、「ペットボトル」や「びん・ガラス」の割合が低くなっています。

住居形態別の資源の品目別組成 (単位: %)



(資源)

住居形態別の資源の品目別組成 (単位:%)

種類		戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均
紙類	小計	69.5	18.2	36.8	30.2	61.8	43.3
	容器包装	15.0	4.6	18.4	0.3	12.0	10.1
	容器包装以外	54.5	13.6	18.4	30.0	49.9	33.3
プラスチック類	小計	5.2	8.4	0.1	6.1	4.1	4.8
	PETボトル	4.8	8.4	0.1	5.7	3.7	4.5
	容器包装	0.4	0.0	0.0	0.4	0.4	0.2
	容器包装以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
金属類	小計	6.2	11.9	6.8	22.0	15.5	12.5
	容器包装	6.2	11.9	6.8	22.0	4.1	10.2
	容器包装以外	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	2.3
びん・ガラス	小計	18.3	61.3	56.2	41.4	18.5	39.2
	容器包装	18.3	61.3	56.2	41.4	18.3	39.1
	容器包装以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
資源以外	小計	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1
	厨芥類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	草木類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	繊維類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	紙おむつ類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他可燃物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	ゴム・皮革類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	陶磁器・石類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	土砂・残土・灰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	有害・危険物	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1
	小型家電製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他不燃物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ごみ排出時外袋	0.8	0.0	0.1	0.3	0.0	0.2	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

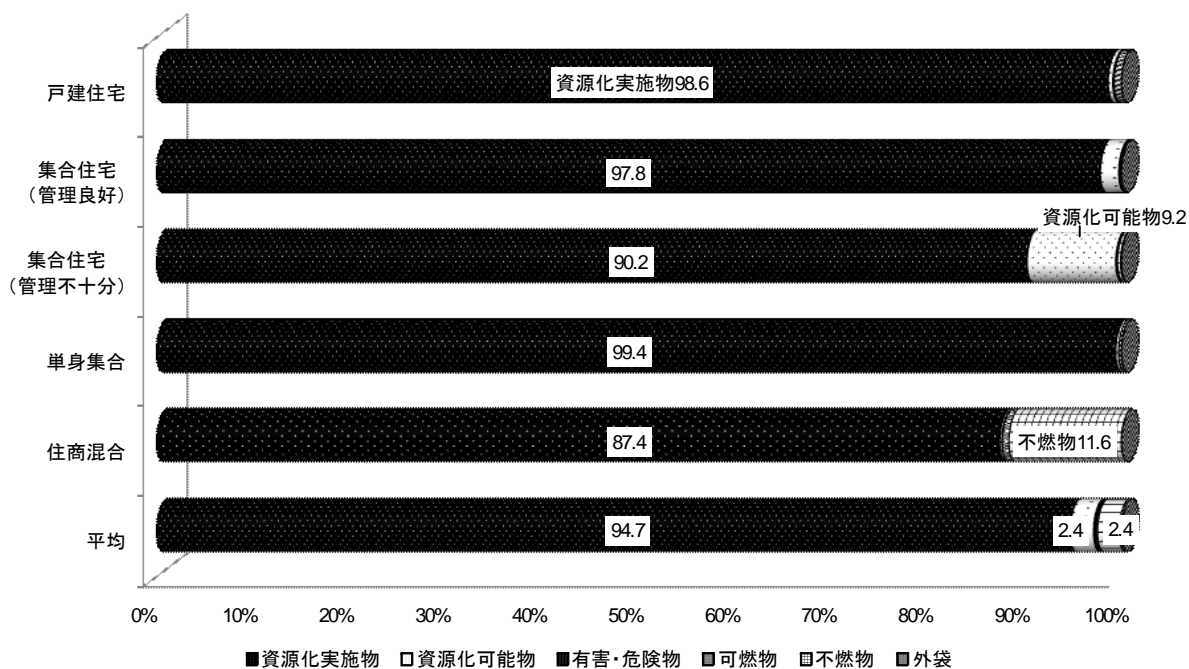
(資源)

③ 分別区分別

資源回収の異物混入は、各住居形態とも15%以下と、低くなっています。

汚れたプラスチック製容器包装類や雑紙などの「資源化可能物」は、集合住宅（管理不十分）で9.2%、「不燃物」は、住商混合地域で11.6%の混入がみられます。

住居形態別の資源の分別区分別組成（単位：%）



住居形態別の資源の分別区分別組成（単位：%）

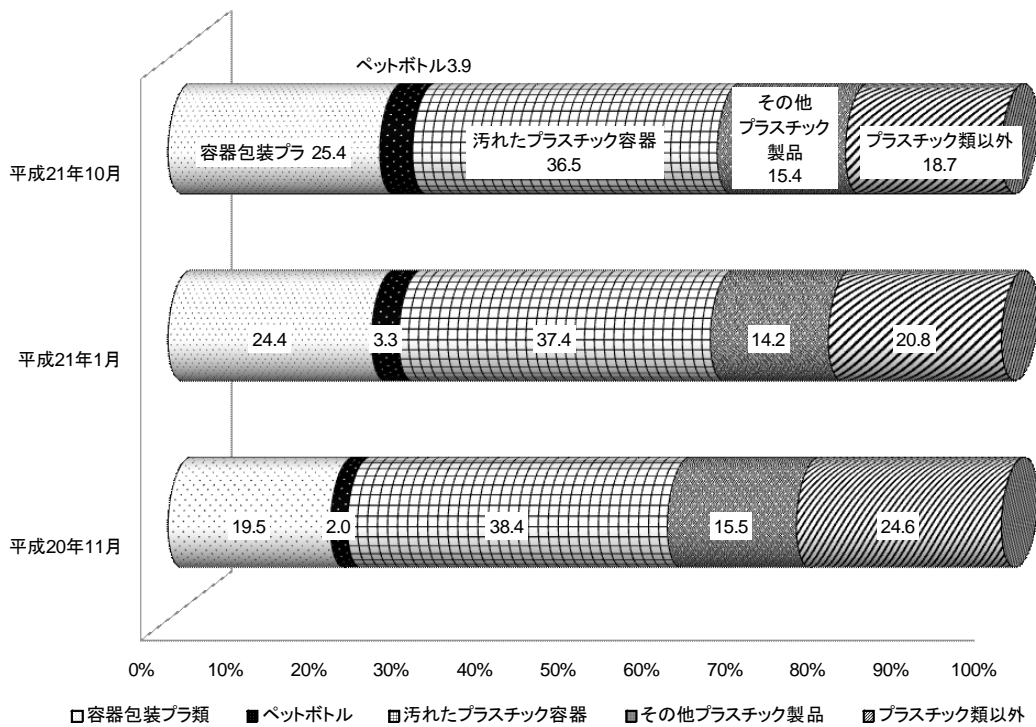
種類		戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均
資源化実施物	小計	98.6	97.8	90.2	99.4	87.4	94.7
	資源プラスチック	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.1
	その他資源化実施物	98.5	97.8	90.2	99.3	87.2	94.6
資源化可能物		0.5	1.9	9.2	0.3	0.2	2.4
有害・危険物		0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1
可燃物	小計	0.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2
	ゴム・皮革類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他可燃物	0.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2
不燃物		0.0	0.0	0.5	0.0	11.6	2.4
外袋		0.8	0.0	0.1	0.3	0.0	0.2
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(4) 資源プラスチック

① 品目別組成

今年度調査 (H21.10) の容器包装プラスチック類 (ペットボトルを除く) は 25.4% に増加した一方で、プラスチック類以外は、減少しました。

資源プラスチックの品目別組成 (単位: %)

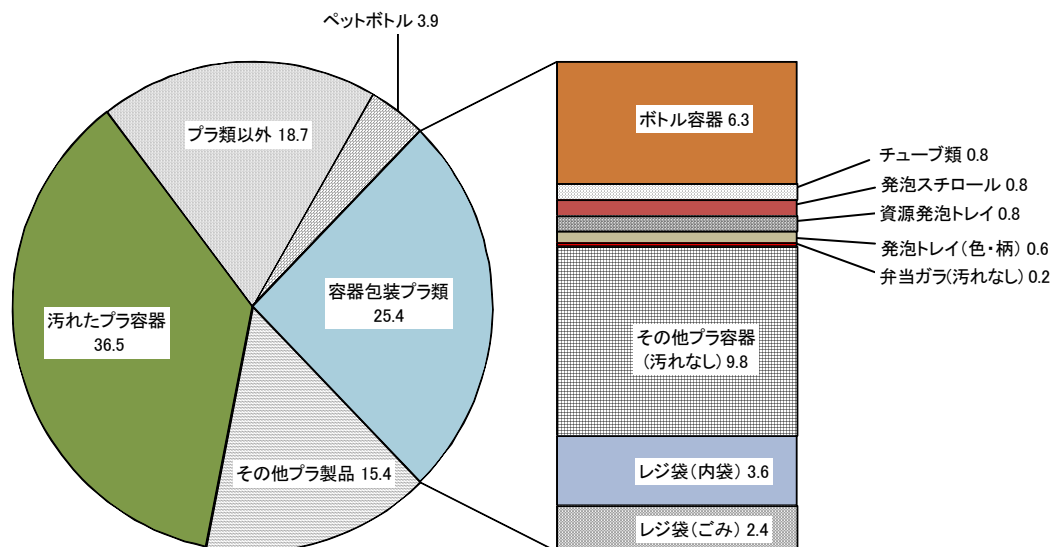


資源プラスチックの品目別組成 (単位: %)

種類		平成20年11月	平成21年1月	平成21年10月
容器包装 プラ類	小計	19.5	24.4	25.4
	ボトル容器	2.2	2.7	6.3
	チューブ類	1.0	0.6	0.8
	発泡スチロール	2.2	2.8	0.8
	発泡トレイ(白)	1.1	1.0	0.8
	発泡トレイ(色・柄)	0.9	0.6	0.6
	弁当ガラ(汚れなし)	0.2	0.3	0.2
	その他プラ容器(汚れなし)	7.0	11.0	9.8
	レジ袋(内袋)	2.0	2.5	3.6
	レジ袋(ごみ)	2.9	3.0	2.4
ペットボトル	2.0	3.3	3.9	
汚れたプラスチック容器	38.4	37.4	36.5	
その他プラスチック製品	15.5	14.2	15.4	
プラスチック類以外	24.6	20.8	18.7	
合計	100.0	100.0	100.0	

今年度調査 (H21.10) の資源プラスチックの組成をみると、食品が付着するなど汚れた容器包装が 36.5%と最も高くなっており、本調査の時点では、資源プラスチックとして排出された容器包装プラスチック類 61.9% (容器包装プラ類 25.4%、汚れたプラ容器 36.5%の合計) のうち、半分以上が汚れたプラスチックだということがわかります。

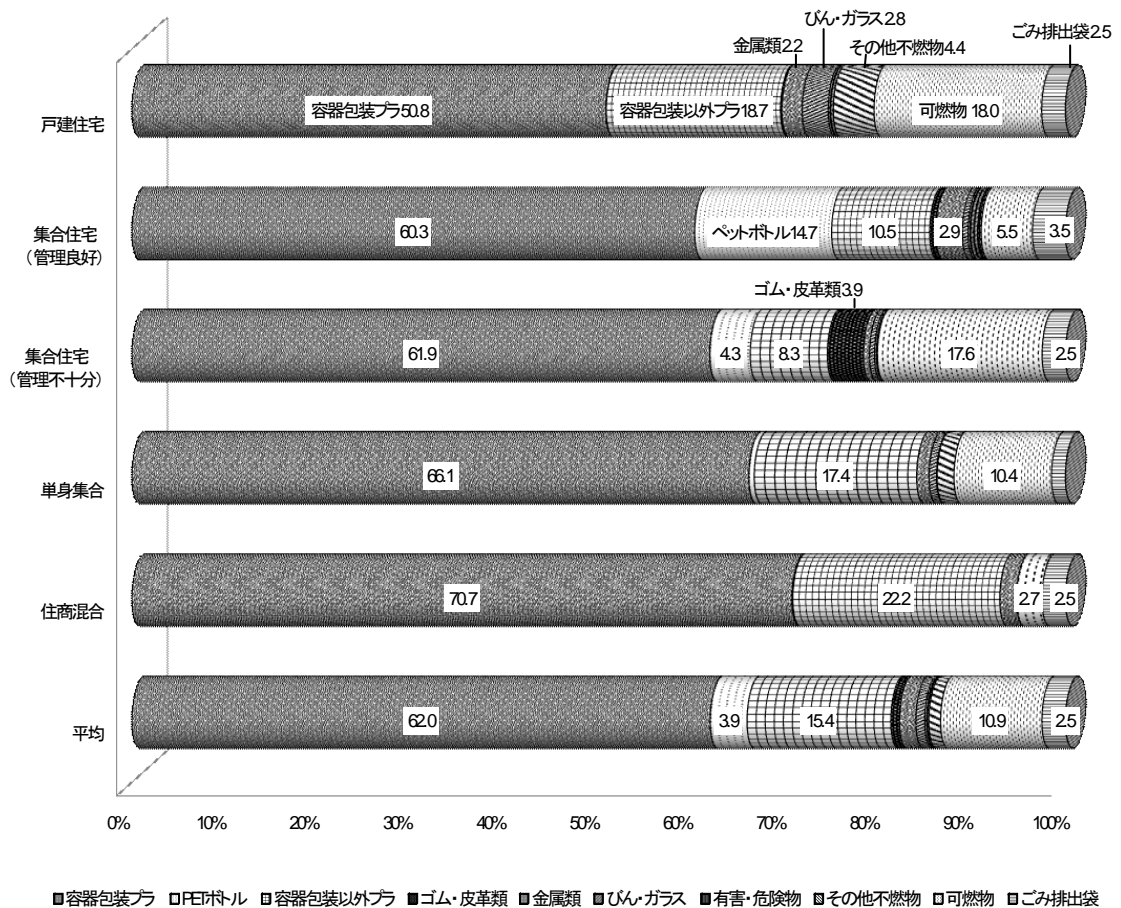
資源プラスチックの組成(単位: %)



② 住居形態別組成

資源プラスチックの住居形態別の品目別組成をみると、戸建住宅以外は、「容器包装プラスチック」が全体の60%前後を占めており、住商混合では、70%を超えています。住居形態ごとの特徴としては、集合住宅（管理良好）地域でのペットボトルの割合が14.7%と目立って高いこと、戸建住宅および住商混合地域ではより多くのプラスチック製品が資源プラスチックとして排出されていることがわかります。

住居形態別の資源プラスチックの品目別組成(単位:%)



(資源プラスチック)

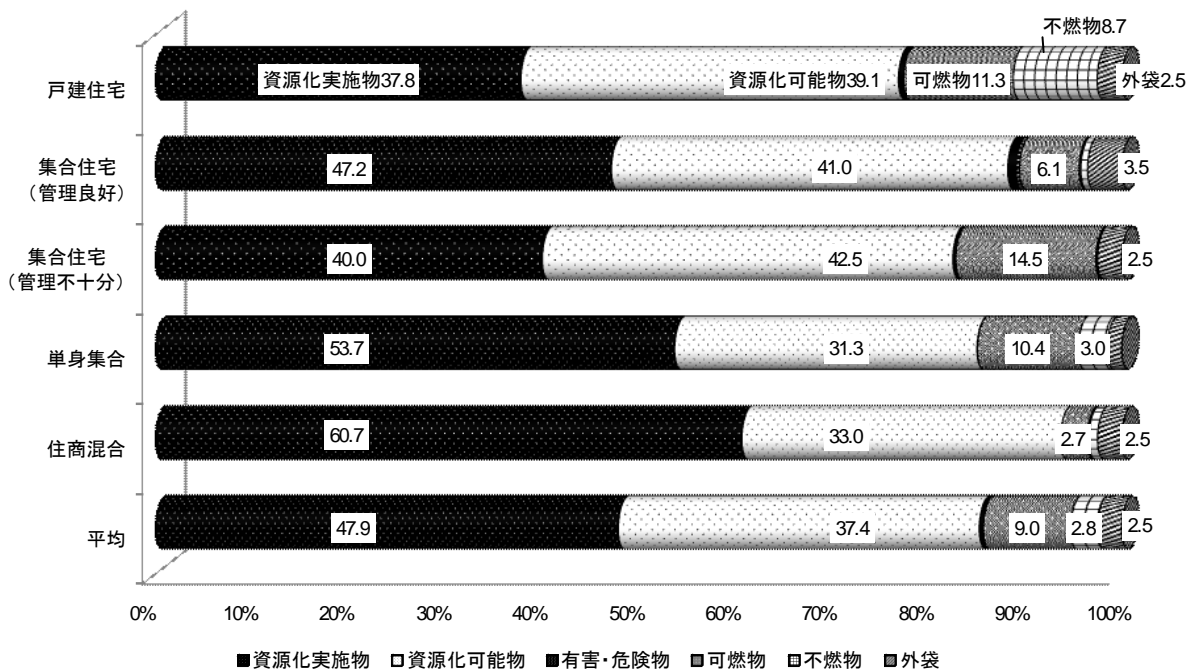
住居形態別の資源プラスチックの品目別組成(単位:%)

種類	戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均
可燃物	18.0	5.5	17.6	10.4	2.7	10.9
プラスチック類	小計	69.5	85.5	74.5	84.1	81.3
	PETボトル	0.0	14.7	4.3	0.6	3.9
	容器包装	50.8	60.3	61.9	66.1	62.0
	容器包装以外	18.7	10.5	8.3	17.4	15.4
ゴム・皮革類	0.1	0.7	3.9	0.0	0.0	0.9
陶磁器・石類	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
金属類	小計	2.2	2.9	0.6	1.3	1.8
	容器包装	0.0	2.1	0.5	0.9	0.9
	容器包装以外	2.1	0.7	0.2	0.4	0.9
びん・ガラス	小計	2.8	0.6	0.5	0.8	0.9
	容器包装	2.0	0.6	0.5	0.0	0.6
	容器包装以外	0.8	0.0	0.0	0.8	0.3
土砂・残土・灰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
有害・危険物	0.6	1.2	0.3	0.1	0.0	0.4
小型家電製品	3.7	0.0	0.0	1.8	0.0	1.1
その他不燃物	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1
ごみ排出時外袋	2.5	3.5	2.5	1.5	2.5	2.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

③ 分別区分別

資源プラスチック回収の異物混入は、「資源化可能物」が30～40%程度と高くなっています。その内訳は、調査の結果ほとんどが汚れたプラスチック容器でした。内容物の除去や水洗いをすることにより資源プラスチックとなるものです。

住居形態別の資源プラスチックの分別区分別組成（単位：%）



住居形態別の資源プラスチックの分別区分別組成（単位：%）

種類		戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均
資源化実施物	小計	37.8	47.2	40.0	53.7	60.7	47.9
	資源プラスチック	31.5	29.0	27.9	52.7	59.1	40.0
	その他資源化実施物	6.3	18.2	12.2	1.0	1.6	7.9
資源化可能物		39.1	41.0	42.5	31.3	33.0	37.4
有害・危険物		0.6	1.2	0.3	0.1	0.0	0.4
可燃物	小計	11.3	6.1	14.5	10.4	2.7	9.0
	ゴム・皮革類	0.1	0.7	3.9	0.0	0.0	0.9
	その他可燃物	11.2	5.5	10.6	10.4	2.7	8.1
不燃物		8.7	0.9	0.2	3.0	1.1	2.8
外袋		2.5	3.5	2.5	1.5	2.5	2.5
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(5) 事業系ごみ

収集したサンプルの中でこれら事業系の有料シールが貼られている場合は、家庭系のごみとは分けて組成を調査しました。可燃ごみは全 20 サンプル中、4 サンプルで事業系の有料シールが貼られたごみが含まれており、不燃ごみは全 10 サンプル中、2 サンプルで同様のごみが含まれていました。

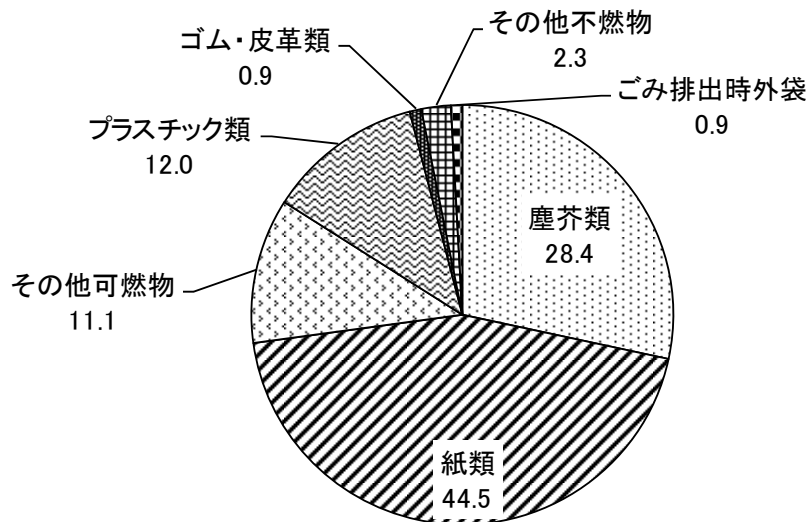
事業系のごみの組成は、サンプル数が少ないことと、一つのサンプルの量も少ないために、十分なサンプル量とは言えませんでした。そのため、以下の結果は参考データとして考えることとします。

なお、組成の求め方は、サンプルごとに組成を求め、それを単純平均して全体の組成を求めました。

① 可燃ごみの組成

事業系の可燃ごみの組成は、紙類が 44.5% でもっとも高く、次に厨芥類の 28.4% となっており、この 2 つで 7 割を超えます。

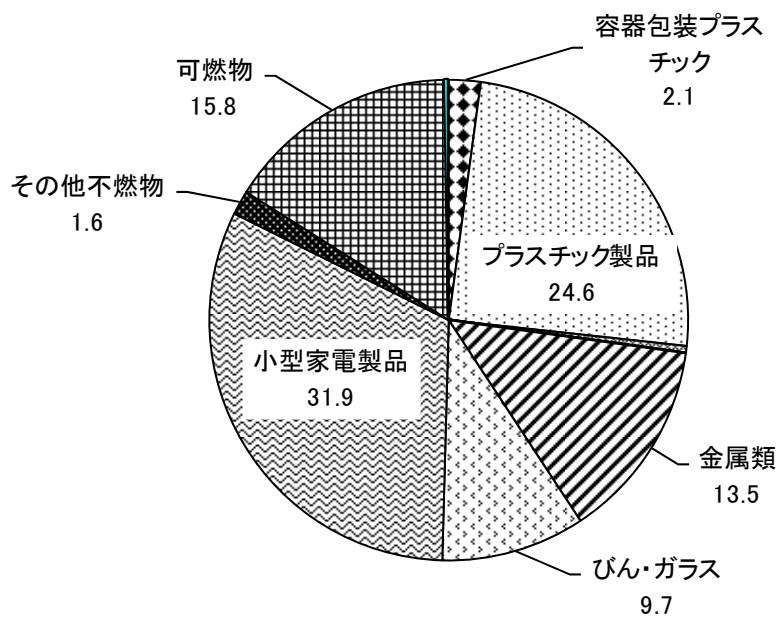
事業系ごみの組成(可燃ごみ、単位：%)



② 不燃ごみの組成

事業系の不燃ごみの組成では、小型家電製品が 31.9%もっとも高く、次にプラスチック製品 (24.6%)、金属類 (13.5%)、びん・ガラス (9.7%) となっており、これらで約 80% を占めています。また、可燃物も 15.8%となっています。

事業系ごみの組成(不燃ごみ、単位:%)



Ⅲ ごみ排出原単位調査

1. 調査概要

① 調査の目的

調査は、家庭から集積所に排出される 1 人 1 日あたりのごみ・資源量を把握するとともに、世帯人数別の組成を調べることを目的に実施します。

② 調査日

調査は、平成 21 年 11 月 9 日（月）～14 日（土）に、区内から 10 地点の集積所を選び実施しました。

調査対象地区及び調査日程

集積所No	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
調査地点	芝2丁目	芝2丁目	芝3丁目	芝3丁目	高輪	高輪	白金	白金	東麻布	東麻布
11月9日	月	プラ	プラ	不燃	不燃	可燃	可燃	可燃	可燃	
10日	火	可燃	可燃	資源	資源	不燃	不燃	不燃	不燃	プラ
11日	水			可燃	可燃	資源	資源	資源	資源	可燃
12日	木	資源	資源	プラ	プラ	可燃	可燃	可燃	可燃	不燃
13日	金	可燃	可燃			プラ	プラ	プラ	プラ	資源
14日	土	不燃	不燃	可燃	可燃					可燃

③ 調査方法

集積所 1～2 か所に 1 人ずつ調査員を配置し、ごみ排出に来た区民に調査協力を依頼し、協力の意思を確認後、世帯人数及び何日分のごみあるいは資源かについて尋ねました。回収したごみは、清掃事務所に搬入し、個々の重量を計測しました。計量後は、世帯人数ごとに集めて組成分析を実施しました。

④ 集計方法

調査結果から、

a ごみ種別世帯人数別のごみ総重量

b ごみ種別世帯人数別総人日

を求めました。

bの総人日とは、世帯人数とごみの保管日数の積（世帯人数×ごみの保管日数）です。ごみ種別世帯人数別の 1 人 1 日あたりの排出量は、aとbの商（ $a \div b$ ）で求めました。

2. 調査結果

(1) 世帯人数別データ

① サンプル数

サンプル数は、以下の通りです。

- 可燃ごみ：142
- 不燃ごみ：38
- 資源：47
- 資源プラスチック：63

合計：290

可燃ごみは、データ収集を週2回行ったため他よりもサンプル数が多くなっています。また不燃ごみは、プラスチック類等の区分変更に伴い、不燃ごみの排出自体が減少したことなどが原因でサンプル数が比較的少なくなっています。

なお6人世帯以上はサンプル数が少なく、ごみ種によってはデータがないため集計から除いています。

サンプル数(単位:件)

ごみ種	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	全体
可燃	42	27	42	15	16	142
不燃	12	5	13	6	2	38
資源	14	8	13	8	4	47
資源プラ	14	19	12	10	8	63
合計	82	59	80	39	30	290

② 総重量

排出物の総重量は、総計 677.3kg でした。詳細は下記の通りです。

総重量(単位:kg)

ごみ種	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	全体
可燃	69.6	68.6	144.0	67.7	82.6	432.6
不燃	10.8	0.8	15.1	12.0	7.3	46.2
資源	45.0	22.0	45.0	30.5	13.4	155.8
資源プラ	4.7	9.4	8.6	7.3	12.8	42.7
合計	130.1	100.8	212.7	117.5	116.1	677.3

③ 総人日

総人日とは、世帯人数とごみの保管日数の積（世帯人数×ごみの保管日数）です。

下記表の通り、総人日は総計 5,734 人日でした。

総人日(単位:人日)

ごみ種	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	全体
可燃	181	196	465	216	300	1,358
不燃	706	140	714	392	140	2,092
資源	161	126	336	308	140	1,071
資源プラ	80	280	309	264	280	1,213
合計	1,128	742	1,824	1,180	860	5,734

④ 1人1日当たりのごみ・資源の排出量

1人1日あたりのごみ・資源の排出量は、上記で求めた総重量と総人日の商（総排出量÷総人日）で求めました。たとえば、可燃ごみの1人世帯の1人1日あたりの排出量は、

$$\text{②総重量 } 69.6\text{kg} \div \text{③}181 \text{人日} = 0.385\text{kg} \text{ (385g)}$$

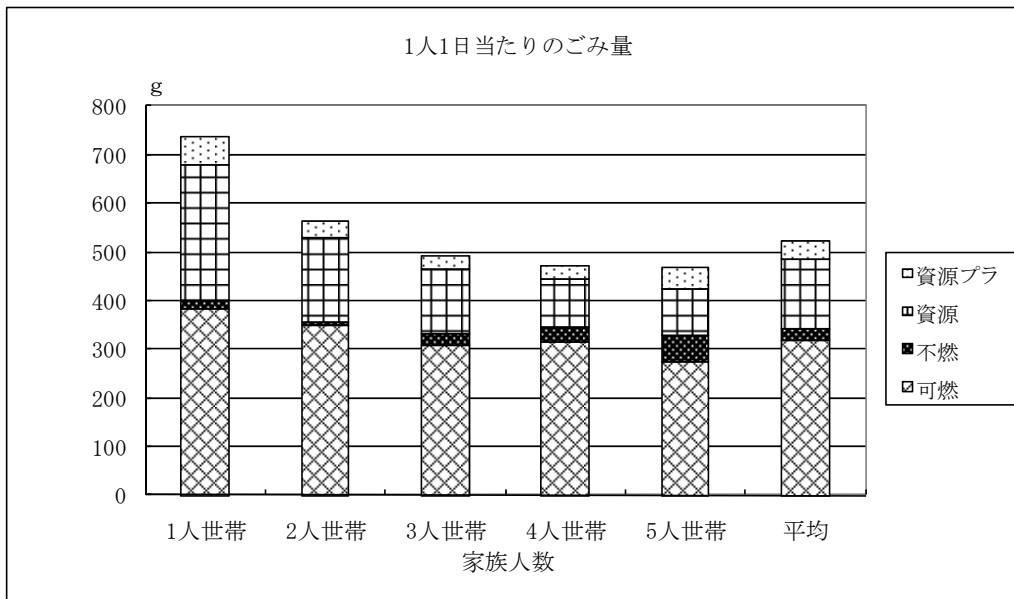
と計算しました。

「1人1日あたりの排出量」は全体で 521g でした。世帯人数別にみると、1人世帯が最も多い 738g、次に2人世帯が 564g、3人世帯 493g、4人世帯 471g となっており、世帯人数が増えるに従い排出量が減少しています。

参考までに平成 19 年度、20 年度の平均と比べると、19 年度と 20 年度の中間位の値となっています。

平成 21 年度の世帯人数別 1 人 1 日当たりの排出量(単位:g)

	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	平均
可燃	385	350	310	314	275	319
不燃	15	6	21	31	52	22
資源	280	174	134	99	95	145
資源プラ	58	34	28	28	46	35
合計	738	564	493	471	469	521
20年度合計	807	664	427	415	352	482
19年度合計	934	821	716	516	693	654



参考：平成 20 年度原単位調査：世帯人数別 1 人 1 日当たりのごみ量(単位:g)

	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	平均
可燃物	482	396	247	261	186	293
不燃物	11	70	25	21	23	25
資源	244	163	101	103	122	127
資源プラ	70	35	54	31	21	37
合計	807	664	427	415	352	482

参考：平成 19 年度原単位調査：世帯人数別 1 人 1 日当たりのごみ量(単位:g)

	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯	平均
可燃物	362	514	446	303	365	378
不燃物	35	58	64	25	43	41
資源	437	197	163	144	250	188
資源プラ	100	53	43	44	36	47
合計	934	821	716	516	693	654

(2) 世帯人数別の組成

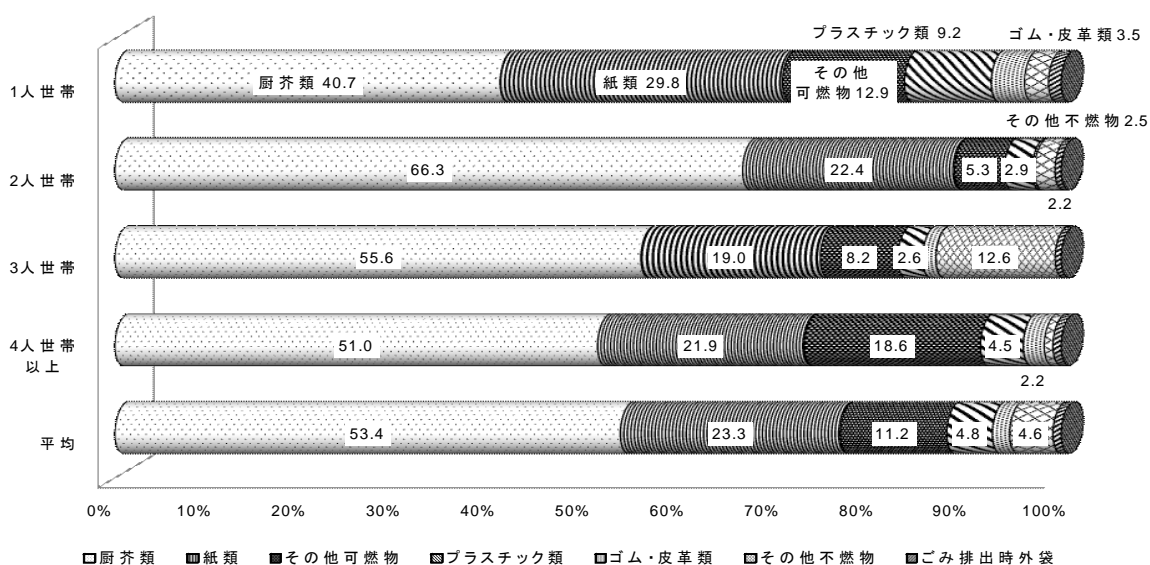
① 可燃ごみの組成

可燃ごみの平均組成をみると、「塵芥類」が53.4%と最も高く全体の約半分を占めています。次いで割合が高いのは、新聞紙などの「容器包装以外」の紙類で15.3%、「容器包装」の紙類で8.0%となっています。

どの世帯人数の場合でも、最も割合が高いのは「塵芥類」で40.7～66.3%、次いで紙類の「容器包装以外」となっています。

世帯人数別の可燃ごみの組成(単位:%)

種類		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯以上	平均	
厨芥類		40.7	66.3	55.6	51.0	53.4	
紙類	小計	29.8	22.4	19.0	21.9	23.3	
	容器包装	9.3	10.6	5.3	6.7	8.0	
	容器包装以外	20.6	11.8	13.6	15.1	15.3	
その他可燃物	小計	12.9	5.3	8.2	18.6	11.2	
	草木類	1.0	0.6	2.3	1.3	1.3	
	繊維類	5.5	2.4	3.2	7.3	4.6	
	紙おむつ類	1.1	1.8	2.0	8.0	3.2	
	その他可燃物	5.3	0.4	0.8	2.0	2.1	
プラスチック類	小計	9.2	2.9	2.6	4.5	4.8	
	PETボトル	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	
	容器包装	7.2	2.5	2.3	3.1	3.8	
	容器包装以外	1.8	0.4	0.2	1.4	0.9	
ゴム・皮革類		3.5	0.3	1.4	2.2	1.8	
その他不燃物	小計	2.5	2.2	12.6	0.9	4.6	
	陶磁器・石類	0.0	1.9	0.0	0.0	0.5	
	金属類	小計	0.4	0.0	6.9	0.1	1.8
		容器包装	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
		容器包装以外	0.2	0.0	6.9	0.1	1.8
	びん・ガラス	小計	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
		容器包装	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
		容器包装以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	土砂・残土・灰	2.0	0.1	5.6	0.1	2.0	
	有害・危険物	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	
小型家電製品	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他不燃物	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1		
ごみ排出時外袋		1.3	0.6	0.6	0.9	0.9	
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

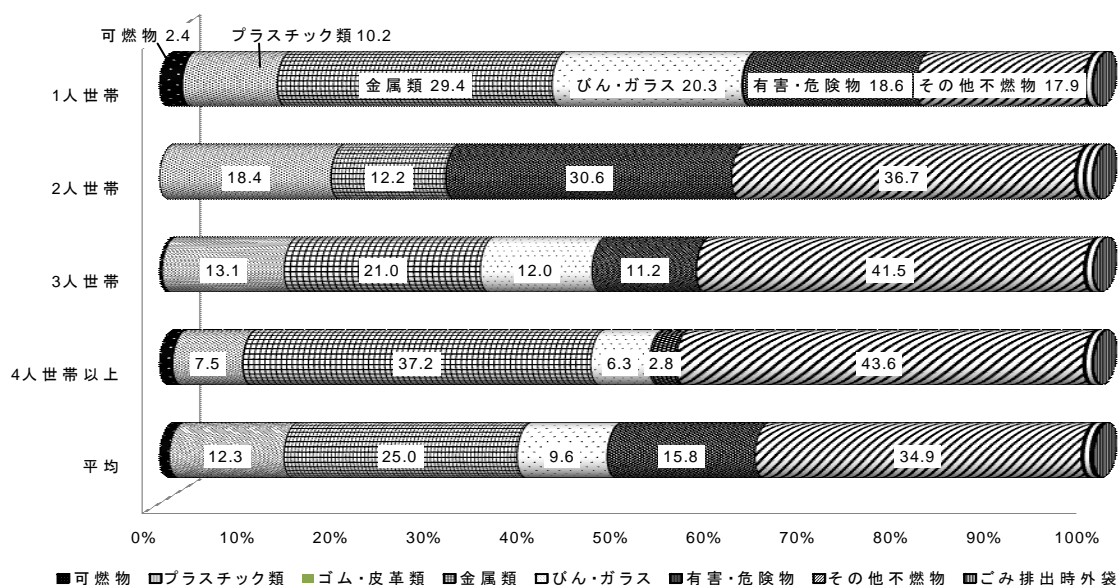


② 不燃ごみの組成

不燃ごみの組成をみると、「金属類の容器包装以外」が20.1%で最も高く、次に「小型家電製品」(17.2%)、「有害・危険物」(15.8%)、陶器・石類(14.0%)となっています。

世帯人数別の不燃ごみの組成(単位:%)

種類		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯以上	平均	
可燃物	小計	2.4	0.0	0.3	1.4	1.0	
	厨芥類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	紙類	容器包装	2.1	0.0	0.0	0.5	0.6
		容器包装以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	草木類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	繊維類	0.0	0.0	0.0	0.9	0.2	
	紙おむつ類	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1	
	その他可燃物	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	
プラスチック類	小計	10.2	18.4	13.1	7.5	12.3	
	PETボトル	0.6	0.0	0.0	0.0	0.1	
	容器包装	6.0	18.4	2.8	0.8	7.0	
	容器包装以外	3.6	0.0	10.2	6.7	5.1	
ゴム・皮革類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
金属類	小計	29.4	12.2	21.0	37.2	25.0	
	容器包装	8.1	0.0	3.5	8.0	4.9	
	容器包装以外	21.3	12.2	17.5	29.2	20.1	
びん・ガラス	小計	20.3	0.0	12.0	6.3	9.6	
	容器包装	2.1	0.0	5.5	1.2	2.2	
	容器包装以外	18.3	0.0	6.5	5.1	7.4	
有害・危険物	18.6	30.6	11.2	2.8	15.8		
その他不燃物	小計	17.9	36.7	41.5	43.6	34.9	
	陶磁器・石類	10.2	36.7	1.1	8.0	14.0	
	土砂・残土・灰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	小型家電製品	7.7	0.0	25.4	35.6	17.2	
その他不燃物	0.0	0.0	14.9	0.0	3.7		
ごみ排出時外袋	1.1	2.0	1.1	1.1	1.3		
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		



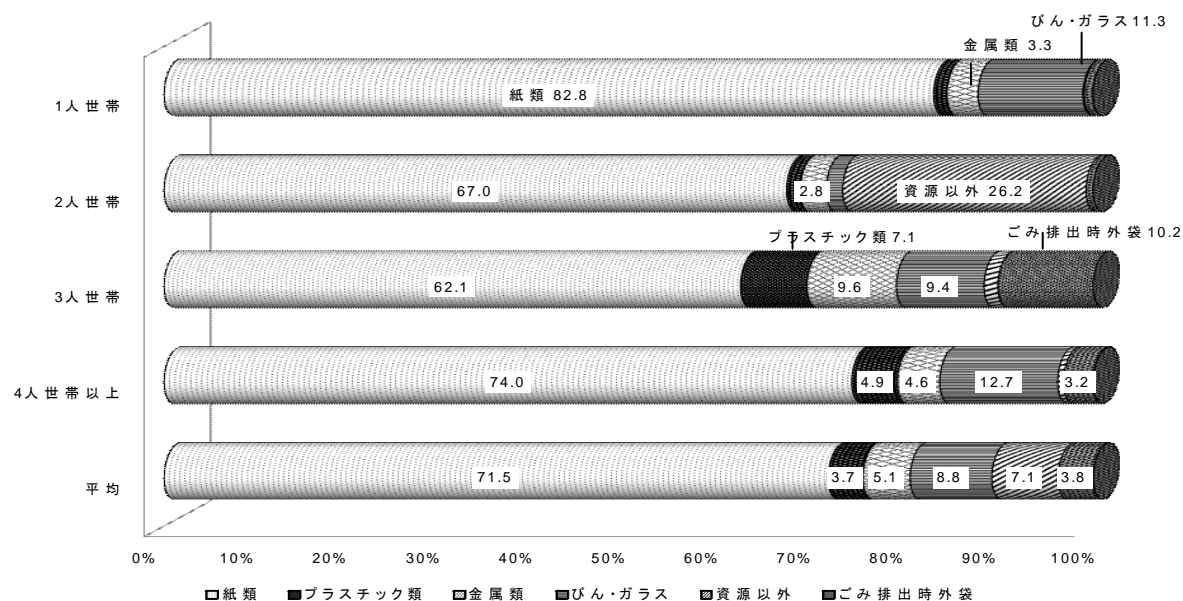
③ 資源の組成

資源の組成をみると、紙類の「容器包装以外」が 58.7%と最も高く、次に紙類の「容器包装」(12.8%)、びん・ガラスの「容器包装」(8.8%) となっています。

世帯人数別にみると、紙類の「容器包装以外」が高い傾向にあるのは同じですが、「2人世帯」では、「資源以外」の小型家電製品の割合が高く、「びん・ガラス」は、低くなっています。

世帯人数別の資源の組成(単位:%)

種類		1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯以上	平均	
紙類	小計	82.8	67.0	62.1	74.0	71.5	
	容器包装	17.1	8.6	15.5	9.9	12.8	
	容器包装以外	65.8	58.5	46.6	64.1	58.7	
プラスチック類	ペットボトル	1.4	1.5	7.1	4.9	3.7	
金属類	小計	3.3	2.8	9.6	4.6	5.1	
	容器包装	3.2	2.8	9.6	4.1	4.9	
	容器包装以外	0.2	0.0	0.0	0.4	0.2	
びん・ガラス	小計	11.3	1.8	9.4	12.7	8.8	
	容器包装	11.3	1.8	9.4	12.7	8.8	
	容器包装以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
資源以外	小計	0.1	26.2	1.5	0.6	7.1	
	プラスチック類	容器包装	0.0	0.1	1.1	0.6	0.4
		容器包装以外	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	厨芥類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	草木類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	繊維類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	紙おむつ類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	その他可燃物	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ゴム・皮革類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	陶磁器・石類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	土砂・残土・灰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	有害・危険物	0.0	0.1	0.4	0.0	0.1	
	小型家電製品	0.0	26.1	0.0	0.0	6.5	
	その他不燃物	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ごみ排出時外袋	0.9	0.7	10.2	3.2	3.8		
合計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

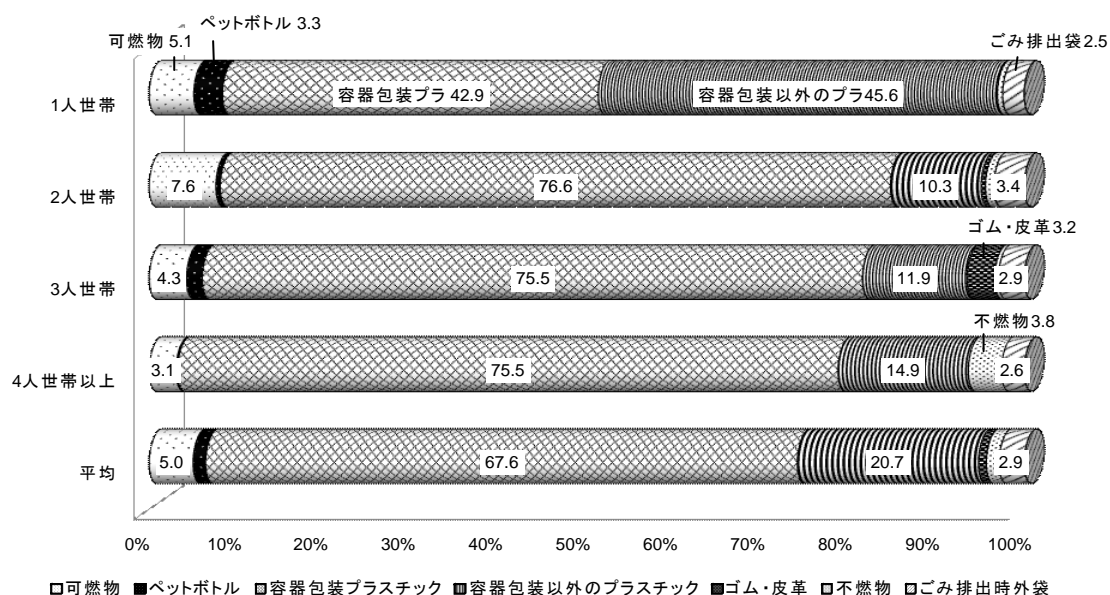


④ 資源プラスチックの組成

資源プラスチックの組成をみると、プラスチック以外では「可燃物」が5.0%、「不燃物」が1.5%、「ゴム・皮革」が0.9%となっており、ごみ排出時外袋を除くと約90%がプラスチックとなっています。プラスチックの詳細は、「その他プラ容器（汚れあり）」が46.1%と高くなっています。

世帯人数別の資源プラスチックの組成(単位:%)

種類	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯以上	平均	
可燃物	5.1	7.6	4.3	3.1	5.0	
ペットボトル	3.3	0.5	1.8	0.2	1.4	
容器包装プラスチック	小計	42.9	76.6	75.5	75.5	67.6
	その他のペットボトル	0.4	0.0	3.4	1.6	1.4
	ボトル容器	1.6	0.7	2.7	3.7	2.2
	チューブ類	1.0	0.7	0.9	1.0	0.9
	発泡スチロール	3.3	1.7	2.7	1.0	2.2
	資源発泡トレイ	0.4	1.5	0.9	1.5	1.1
	発泡トレイ(色・柄)	0.6	0.2	1.1	1.3	0.8
	弁当ガラ(汚れなし)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
	弁当ガラ(汚れあり)	2.5	10.6	0.5	1.1	3.6
	その他プラ容器(汚れなし)	3.3	6.2	3.8	5.3	4.6
	その他プラ容器(汚れあり)	26.6	50.0	52.7	55.1	46.1
レジ袋(内袋)	1.2	3.2	2.7	2.6	2.4	
レジ袋(その他)	2.0	1.7	4.1	1.1	2.2	
容器包装以外のプラスチック	45.6	10.3	11.9	14.9	20.7	
ゴム・皮革	0.0	0.5	3.2	0.0	0.9	
不燃物	0.6	1.0	0.5	3.8	1.5	
ごみ排出時外袋	2.5	3.4	2.9	2.6	2.9	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	



VI 考察

(1) 可燃ごみについて

① 組成割合が高い厨芥類や紙類について

可燃ごみの中で最も多くを占めるのは厨芥類と紙類です。可燃ごみの減量のためには、これらの減量・資源化が大切となります。特に戸建て住宅においては厨芥類の割合が可燃ごみの50%程度となっており、水きりの徹底や自家処理等の推進は有効と考えられます。

② プラスチック類について

分別変更により新たに可燃ごみに加わったプラスチック類は10%程度で、分別変更前の5%程度と比べ2倍程度になったことがわかります。

可燃ごみの中のプラスチックは資源プラスチックに分別できない汚れたものということになっていますが、家庭内でのすすぎ等の水洗いが徹底できれば、資源プラスチックに分別されることになり、プラスチックの割合は減少することが考えられます。

特に可燃ごみへの混入が多いプラスチックは、食品関連のものが多く、トレイ、弁当がらが多く見られました。プラスチックの組成割合は分別の変更前と比べて高くなっており、「汚れたプラスチックは可燃ごみに分類する」という理解は一定程度進んでいるものの、汚れていないプラスチックも、分別が面倒なために「汚れたプラスチック」と一緒に可燃ごみとして出していると思われるケースもありました。



可燃ごみの中のプラスチック（トレイ）



可燃ごみの中のプラスチック弁当がら



可燃ごみの中のプラスチック(菓子袋など)



可燃ごみの中のプラスチック(油のボトル)

(2) 不燃ごみについて

① 組成割合が高い小型家電、金属類について

不燃ごみの中で最も多くを占めるものは小型家電製品及び金属類です。分別変更によりプラスチックやゴム・皮革類が資源プラスチックや可燃ごみに分類されたために、それまでは目立たなかったものが目立つようになったとも考えられます。

分別変更前の平成 20 年 9 月の組成をみると、金属類は 5.7%で、小型家電製品はその 3 分の 1 程度の 1.6%となっています。分別変更後の金属類と小型家電の関係を見てみると、その時々によって比率が変わります(13 ページ参照)。

物を購入してから廃棄するまでの期間を想定した場合、分別区分変更後の不燃ごみは、買ってきてからすぐにごみになるプラスチック容器包装等がなくなり、陶器やガラス製品、小型家電製品や金属類(容器包装を除く)等、購入してからごみになるまで数年間を要するものの割合が相対的に多くなりました。その結果、その時たまたまごみになって出たものの影響を受けやすくなり、組成結果にもばらつきが出ているものと思われる。

② プラスチック類について

不燃ごみ中のプラスチックの組成は 8.4%で、分別変更前の 53.6%と比べて大きく減少しました。分別の変更が一定程度定着したものと思われる。

ただし、小型家電製品や金属类等、比較的比重が大きなごみとなった不燃ごみの中で、比重が小さなプラスチックの割合が 8.4%あるということは、かさでみた場合は未だに大きな割合を占めることとなります。

具体的には、食品関係のトレイや袋、洗剤容器、プラスチック製の靴やカバンなどの日用品等であり、誤って混入したという場合もありますが、プラスチックの分別変更を自覚していない場合もあるように思われます。



不燃ごみの中のプラスチック（トレイ等）



不燃ごみの中のプラスチック
（スキー靴やプラスチック製のカバン）



不燃ごみの中のプラスチック（日用品の袋）



不燃ごみの中のプラスチック（洗剤容器）

（3）資源について

資源は、資源以外のものはほとんど含まれていません。可燃ごみや不燃ごみ資源が混入することはあっても、逆に資源に可燃ごみや不燃ごみが混入することは少ないです。

しかし、住居別で見ると、住商混合地域では不燃ごみが10%前後含まれています。

（4）資源プラスチックについて

資源プラスチックの組成では、プラスチック類以外が18.7%も含まれています（22ページ参照）。住居形態別にみると、戸建て住宅が18.0%、集合住宅（管理不十分）が17.6%となっています。資源プラスチックは比重が小さいため、比重が大きな厨芥類等が含まれると、それだけで異物の組成割合が大きくなります（24,25ページ参照）。

容器包装プラスチックは、食品用の容器包装材も多く、容器包装材に食品が残っている場合や、他の食品と一緒に捨てられる場合、プラスチックの袋に入ったままの場合もあり

ます。未だに可燃ごみと誤解している人や袋と中身を分離して出さない人もいます。また、資源プラスチックと誤りやすいものとして、プラスチックと区別が付きにくい紙でできたカップめんの容器や、資源に分類すべきPETボトル等があります。

分別の誤りについては、分別を誤って出した人、または分別変更を全く知らない人など、様々なタイプの人がいると考えられます。区分変更前はプラスチックの分類は23区どこでも不燃ごみ扱いでしたが、今回の区分変更は区によって異なるため、他区から引っ越してきた人によっては誤解している人がいるかもしれません。分別の広報指導等は様々な機会、場面で行っていくことが必要だと考えます。



食材が入ったままのプラスチック



割りばし



紙屑



ペットボトル

(5) 事業系ごみについて

今回の調査の目的のひとつは、区が収集している小規模事業所から排出される事業系のごみの実態を把握することにあります。十分なサンプルが確保できなかったために、細かな数字で述べることはできませんが、可燃ごみにおいては紙類や厨芥類が多くを占めていました。家庭ごみは紙類よりも厨芥類の方が多いですが、事業系は紙類が多いようです。事業系のごみ減量対策は、まずは紙類の資源化ということが必要だとわかります。

資料編

可燃ごみの組成（単位：％）

No	種類	分類項目	戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均	
1	塵芥類	未使用食品	0.9	4.0	2.8	2.7	1.8	2.5	
2		調理くず、残飯等	48.6	33.7	34.2	34.8	19.4	34.1	
3	紙類	容器包装	ダンボール	0.5	0.7	2.1	0.9	1.6	1.2
4			資源紙バック	0.3	1.0	1.2	1.7	1.0	1.0
5			紙容器包装(汚れなし)	1.2	2.4	2.4	1.5	2.2	1.9
6			紙容器包装(汚れあり)	4.3	4.9	4.2	4.2	6.3	4.8
7			新聞紙・チラシ	4.5	5.4	6.2	5.2	2.7	4.8
8		容器包装以外	雑誌類・書籍類	2.5	6.2	3.9	6.7	19.3	7.7
9			雑紙	2.9	3.1	4.5	4.2	6.8	4.3
10			オフィス系紙類	0.1	0.6	1.1	0.2	2.3	0.9
11			その他紙類	5.4	4.6	5.1	9.3	4.6	5.8
12			草木類	剪定枝	1.7	2.5	3.3	1.3	3.6
13		繊維類		7.2	9.7	10.4	5.2	6.5	7.8
14	紙おむつ類		8.5	6.0	5.3	5.7	1.5	5.4	
15	その他可燃物		0.8	1.2	1.2	2.1	1.6	1.4	
16	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.7	0.7	0.5	0.6	0.4	0.6
17			その他のペットボトル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
18			ボトル容器	0.1	0.3	0.3	0.4	0.4	0.3
19			チューブ類	0.5	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2
20			発泡スチロール	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
21			資源発泡トレイ(白)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
22			発泡トレイ(色・柄)	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
23			弁当ガラ(汚れなし)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24			弁当ガラ(汚れあり)	0.1	0.3	0.3	0.2	1.6	0.5
25			その他プラ容器(汚れなし)	0.1	0.4	0.3	0.4	0.1	0.3
26			その他プラ容器(汚れあり)	2.4	4.1	5.1	6.9	3.8	4.5
27			レジ袋(内袋)	0.5	0.9	0.9	1.1	1.0	0.9
28		レジ袋(ごみ)	0.1	0.5	0.2	0.8	0.2	0.4	
29	容器包装以外	その他プラスチック製品	2.0	1.5	1.6	1.1	3.8	2.0	
30	ゴム・皮革類		0.3	2.0	0.6	1.2	0.5	0.9	
31	陶磁器・石類		0.0	1.5	0.0	0.0	0.2	0.3	
32	金属類	容器包装	アルミ缶	0.1	0.0	0.3	0.1	0.0	0.1
33			スチール缶	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	0.1
34		その他金属容器	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
35		容器包装以外	金属製品	0.0	0.0	0.2	0.0	2.3	0.5
36	びん・ガラス	容器包装	リターナブルびん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
37			無色雑びん	0.2	0.3	0.0	0.1	0.0	0.1
38			茶色雑びん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
39			その他色雑びん	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
40		資源回収不適なびん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
41	容器包装以外	びん・ガラス製品	2.9	0.0	0.0	0.0	1.9	1.0	
42	土砂・残土・灰		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
43	有害・危険物	蛍光管	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	
44		乾電池(筒型)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
45		乾電池(その他)	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.2	
46		スプレー缶	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
47		ライター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
48	小型家電製品		0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1	
49	その他不燃物		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
50	ごみ排出時外袋	レジ袋	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	
51		プラスチック製の袋	0.3	0.5	0.7	0.6	1.2	0.6	
52		その他	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

不燃ごみの組成（単位：％）

No	種類	分類項目	戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均
1	塵芥類	未使用食品	0.0	0.1	0.8	0.0	0.0	0.2
2		調理くず、残飯等	0.0	0.0	1.2	0.0	1.6	0.6
3	紙類	ダンボール	0.1	0.9	0.0	0.0	1.1	0.4
4		容器包装	資源紙パック	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5			紙容器包装(汚れなし)	0.1	0.4	0.1	0.0	0.0
6			紙容器包装(汚れあり)	0.0	0.0	1.6	0.1	0.0
7			新聞紙・チラシ	0.2	0.3	0.1	0.1	0.1
8		容器包装以外	雑誌類・書籍類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
9			雑紙	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10			オフィス系紙類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11			その他紙類	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
12		草木類	剪定枝	0.0	6.4	1.6	0.2	0.0
13	繊維類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	
14	紙おむつ類		0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	
15	その他可燃物		0.6	0.1	2.8	0.0	2.8	
16	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0
17			その他のペットボトル	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0
18			ボトル容器	0.4	1.7	1.5	0.0	0.0
19			チューブ類	0.0	0.3	0.1	0.0	0.2
20			発泡スチロール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21			資源発泡トレイ(白)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
22			発泡トレイ(色・柄)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
23			弁当ガラ(汚れなし)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24			弁当ガラ(汚れあり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
25			その他プラ容器(汚れなし)	0.0	0.1	0.1	0.0	0.2
26		その他プラ容器(汚れあり)	0.3	0.3	0.2	0.5	0.2	
27		容器包装以外	レジ袋(内袋)	0.6	0.4	0.1	0.0	0.2
28			レジ袋(ごみ)	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1
29			その他プラスチック製品	4.1	12.8	7.6	0.8	7.9
30	ゴム・皮革類			1.5	0.0	7.4	0.0	
31	陶磁器・石類		14.6	6.5	23.0	14.9		
32	金属類	容器包装	アルミ缶	0.6	0.4	0.1	0.4	
33			スチール缶	0.8	1.3	0.3	0.3	
34		容器包装以外	その他金属容器	2.8	0.0	0.4	1.3	
35			金属製品	23.5	20.5	10.0	23.0	
36	びん・ガラス	容器包装	リターナブルびん	0.0	0.0	0.0	0.0	
37			無色雑びん	0.3	0.0	0.9	2.4	
38			茶色雑びん	2.4	0.1	0.5	0.0	
39			その他色雑びん	0.0	0.0	0.4	0.0	
40			資源回収不適なびん	0.1	3.7	0.8	1.2	
41		容器包装以外	びん・ガラス製品	11.7	1.8	4.3	13.4	
42	土砂・残土・灰		8.0	0.0	6.5	0.0		
43	有害・危険物	蛍光管	0.0	3.0	2.2	3.9		
44		乾電池(筒型)	4.3	0.3	0.9	0.8		
45		乾電池(その他)	1.6	4.0	0.0	0.0		
46		スプレー缶	0.5	0.2	4.0	4.4		
47		ライター	1.5	0.3	0.0	0.2		
48	小型家電製品		14.4	23.0	17.0	22.7		
49	その他不燃物		4.3	8.0	1.0	9.1		
50	ごみ排出時外袋	レジ袋	0.1	0.1	0.1	0.1		
51		プラスチック製の袋	0.2	0.7	1.9	0.2		
52		その他	0.5	0.2	4.0	4.4		
合計			100.0000	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

資源の組成（単位：％）

No	種類	分類項目	戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十分)	単身集合	住商混合	平均	
1	塵芥類	未使用食品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2		調理くず、残飯等	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3	紙類	ダンボール	12.0	4.1	16.2	0.2	11.1	8.7	
4		容器包装	資源紙パック	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1
5			紙容器包装(汚れなし)	2.9	0.5	2.1	0.1	0.0	1.1
6			紙容器包装(汚れあり)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.2
7			容器包装以外	新聞紙・チラシ	17.7	13.2	8.3	18.9	49.8
8		雑誌類・書籍類		36.4	0.2	0.8	11.0	0.0	9.7
9		雑紙		0.2	0.1	9.2	0.0	0.0	1.9
10		オフィス系紙類		0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
11		その他紙類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12		草木類		剪定枝	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13	繊維類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
14	紙おむつ類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
15	その他可燃物		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
16	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	4.8	8.4	0.1	5.7	3.7	4.5
17			その他のペットボトル	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
18			ボトル容器	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
19			チューブ類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20			発泡スチロール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
21			資源発泡トレイ(白)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
22			発泡トレイ(色・柄)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
23			弁当ガラ(汚れなし)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
24			弁当ガラ(汚れあり)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
25			その他プラ容器(汚れなし)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
26			その他プラ容器(汚れあり)	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1
27			レジ袋(内袋)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28			レジ袋(ごみ)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
29			容器包装以外	その他プラスチック製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30	ゴム・皮革類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
31	陶磁器・石類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
32	金属類	容器包装	アルミ缶	3.0	4.3	3.5	12.3	2.0	5.0
33			スチール缶	3.2	5.8	3.3	9.8	2.0	4.8
34		その他金属容器	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.4	
35		容器包装以外	金属製品	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	2.3
36	びん・ガラス	容器包装	リターナブルびん	0.0	2.0	0.0	0.0	1.1	0.6
37			無色雑びん	8.0	25.4	24.3	23.5	6.1	17.5
38			茶色雑びん	5.1	18.5	4.4	6.3	1.1	7.1
39			その他色雑びん	5.2	15.4	27.1	11.6	9.9	13.8
40			資源回収不適なびん	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.1
41	容器包装以外	びん・ガラス製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	
42	土砂・残土・灰		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
43	有害・危険物	蛍光管	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
44		乾電池(筒型)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
45		乾電池(その他)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
46		スプレー缶	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	
47		ライター	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
48	小型家電製品		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
49	その他不燃物		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
50	ごみ排出時外袋	レジ袋	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
51		プラスチック製の袋	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
52		その他	0.8	0.0	0.1	0.3	0.0	0.2	
合計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

資源プラスチックの組成（単位：％）

No	種類	分類項目	戸建住宅	集合住宅 (管理良好)	集合住宅 (管理不十)	単身集合	住商混合	平均		
1	塵芥類	未使用食品	0.2	0.2	0.1	1.4	0.4	0.5		
2		調理くず、残飯等	7.0	3.2	3.2	0.9	0.2	2.9		
3	紙類	容器包装	ダンボール	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
4			資源紙パック	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
5			紙容器包装(汚れなし)	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.4	
6			紙容器包装(汚れあり)	0.9	1.0	3.3	0.2	0.1	1.1	
7			新聞紙・チラシ	4.7	0.0	2.9	0.0	0.0	1.5	
8		容器包装以外	雑誌類・書籍類	0.1	0.0	0.9	0.0	0.0	0.2	
9			雑紙	1.9	0.0	1.3	0.0	0.0	0.6	
10			オフィス系紙類	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
11			その他紙類	1.7	0.4	2.5	0.2	0.4	1.0	
12			草木類	剪定枝	1.0	0.2	0.5	0.1	0.0	0.3
13	繊維類		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
14	紙おむつ類		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
15	その他可燃物		0.3	0.4	1.1	7.6	1.6	2.2		
16	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.0	14.7	4.3	0.6	0.1	3.9	
17			その他のペットボトル	1.2	0.7	0.5	0.7	0.0	0.6	
18			ボトル容器	3.9	3.7	7.4	13.6	3.2	6.3	
19			チューブ類	0.5	0.3	1.3	2.0	0.1	0.8	
20			発泡スチロール	0.0	0.1	2.0	0.9	1.1	0.8	
21			資源発泡トレイ(白)	0.8	0.8	1.1	0.5	0.8	0.8	
22			発泡トレイ(色・柄)	0.6	0.7	1.0	0.3	0.5	0.6	
23			弁当ガラ(汚れなし)	0.1	0.2	0.0	0.5	0.0	0.2	
24			弁当ガラ(汚れあり)	1.4	1.9	2.9	1.7	3.1	2.2	
25			その他プラ容器(汚れなし)	4.7	5.5	3.9	10.3	24.7	9.8	
26			その他プラ容器(汚れあり)	34.5	38.3	37.9	28.0	29.9	33.7	
27			容器包装以外	レジ袋(内袋)	1.9	5.5	2.4	3.0	5.2	3.6
28				レジ袋(ごみ)	1.2	2.4	1.6	4.6	2.1	2.4
29				その他プラスチック製品	18.7	10.5	8.3	17.4	22.2	15.4
30	ゴム・皮革類		0.1	0.7	3.9	0.0	0.0	0.9		
31	陶磁器・石類		0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1		
32	金属類	容器包装	アルミ缶	0.0	1.0	0.4	0.0	0.7	0.4	
33			スチール缶	0.0	1.1	0.1	0.0	0.0	0.2	
34		容器包装以外	その他金属容器	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.2	
35			金属製品	2.1	0.7	0.2	0.4	1.1	0.9	
36	びん・ガラス	容器包装	リターナブルびん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
37			無色雑びん	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
38			茶色雑びん	0.0	0.6	0.5	0.0	0.0	0.2	
39			その他色雑びん	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
40		資源回収不適なびん	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3		
41	容器包装以外	びん・ガラス製品	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.3		
42	土砂・残土・灰		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
43	有害・危険物	蛍光管	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
44		乾電池(筒型)	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1		
45		乾電池(その他)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
46		スプレー缶	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.2		
47		ライター	0.2	0.6	0.0	0.1	0.0	0.2		
48	小型家電製品		3.7	0.0	0.0	1.8	0.0	1.1		
49	その他不燃物		0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1		
50	ごみ排出時外袋	レジ袋	1.3	0.0	0.2	0.1	0.1	0.4		
51		プラスチック製の袋	1.2	3.5	2.3	1.4	2.3	2.1		
52		その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0		
合計			100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

事業系ごみの組成（単位：％）

No	種類	分類項目	可燃ごみ	不燃ごみ	
1	塵芥類	未使用食品	1.9	0.0	
2		調理くず、残飯等	26.4	2.0	
3	紙類	容器包装	ダンボール	0.3	0.0
4			資源紙パック	1.4	0.0
5			紙容器包装(汚れなし)	0.9	0.0
6		紙容器包装(汚れあり)	8.3	0.0	
7		容器包装以外	新聞紙・チラシ	3.4	2.1
8			雑誌類・書籍類	4.8	0.0
9	雑紙		2.3	0.0	
10	オフィス系紙類		10.1	0.0	
11		その他紙類	13.0	2.9	
12	草木類	剪定枝	2.3	0.0	
13	繊維類		0.2	0.0	
14	紙おむつ類		1.2	0.0	
15	その他可燃物		7.4	8.9	
16	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.2	0.0
17			その他のペットボトル	0.0	0.0
18			ボトル容器	0.4	0.2
19			チューブ類	0.0	0.0
20			発泡スチロール	0.0	0.0
21			資源発泡トレイ(白)	0.0	0.0
22			発泡トレイ(色・柄)	0.1	0.0
23			弁当ガラ(汚れなし)	0.0	0.0
24			弁当ガラ(汚れあり)	0.9	0.0
25			その他プラ容器(汚れなし)	0.1	0.2
26			その他プラ容器(汚れあり)	6.2	1.4
27			レジ袋(内袋)	2.2	0.2
28			レジ袋(ごみ)	0.1	0.1
29	容器包装以外	その他プラスチック製品	2.0	24.6	
30	ゴム・皮革類		0.9	0.5	
31	陶磁器・石類		0.0	0.0	
32	金属類	容器包装	アルミ缶	0.1	4.4
33			スチール缶	0.1	0.0
34		その他金属容器	0.0	9.2	
35		容器包装以外	金属製品	0.0	0.0
36	びん・ガラス	容器包装	リターナブルびん	0.5	0.0
37			無色雑びん	0.0	0.0
38			茶色雑びん	0.0	0.0
39			その他色雑びん	0.0	0.0
40		資源回収不適なびん	0.0	0.0	
41	容器包装以外	びん・ガラス製品	0.0	9.7	
42	土砂・残土・灰		0.0	0.0	
43	有害・危険物	蛍光管	0.0	0.0	
44		乾電池(筒型)	0.0	0.0	
45		乾電池(その他)	0.0	0.0	
46		スプレー缶	0.0	0.0	
47		ライター	0.0	0.0	
48	小型家電製品		0.1	31.9	
49	その他不燃物		1.6	1.6	
50	ごみ排出時外袋	レジ袋	0.0	0.2	
51		プラスチック製の袋	0.9	0.1	
52		その他	0.0	0.0	
合計			100.0	100.0	

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めます。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

港 区

発行番号 21203-3241

港区ごみ排出実態調査報告書(平成21年度版) 平成22年(2010年)3月

発行 港区産業・地域振興支援部清掃リサイクル課
〒108-0075 東京都港区港南3-9-59
電話 03-3450-8273
受託 株式会社ダイナックス都市環境研究所
電話 03-3580-8221